ケータイサイトGPS

# PDC-GPS

## 取扱説明書

120724-01

## 【ご注意】

1) 本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。


- 「ｉモード」及び「ｉ-mode」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 「ジーピーエスリンク/GPSリンク」及び「GPSLINK」ロゴは株式会社NTTドコモの商標です。
- 「ｉナビリンク」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本製品は、株式会社アイ・オー・データ機器の製品であり、株式会社NTTドコモの製品ではありません。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本製品で「ｉモード」をご利用の際は、対応のｉモード対応携帯電話機が必要です。

# もくじ

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ iii
お読みになる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・ x
受信する電波と測定誤差について・・・・・・・・・ xii

## はじめに

**製品特徴**..... 2
**箱の中の確認**..... 3
**動作環境**..... 5
**各部の名称と機能**..... 9

## 準備

**電池を入れる**..... 14
**電源を入れる**..... 15
**携帯電話機と接続して使う**..... 17
**パソコンと接続して使う**..... 19

## 携帯電話機で使う

**測位座標を表示する**..... 26
**地図サイトに位置を表示する**..... 28
**現在位置/WEB情報をメールで送信する**..... 29
**ログを記憶する**..... 31
**サインポスト機能を使う**..... 33
**その他の機能**..... 34

## パソコンで使う

GeoSeek GPSを使う ..... 36
GeoSeek GPSの設定 ..... 38
・GPSモニタメニュー ..... 38
・GPSモニタ設定 ..... 39
・装置設定を起動する ..... 40
・装置設定からPDC-GPSの設定をする ..... 43
・メニューウィンドウ ..... 55
・PDC-GPSの動作/停止 ..... 56
・動作に異常がある場合は初期化 ..... 57
・現在位置が表示されないときは ..... 58
・特定の場所への距離や方向を知るには ..... 59
・GPSアプリケーション起動を開く ..... 62
・軌跡コントローラⅡを開く ..... 65
・共通設定 ..... 69
ログの読み出し ..... 70
ゼンリン電子地図帳Z [zi:] 5
for I-O DATAを使う ..... 74

## ふろく

困ったときには ..... 86
アンインストール ..... 94
ハードウェア仕様 ..... 96
用語解説 ..... 97

お問い合わせ ..... 99
修理について ..... 100

# 安全上のご注意

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

## ●安全のための注意事項を守る

## ●道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。
前方注意を怠るなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となる場合があります。
**運転者は走行中に本製品の操作をしたり、画面を見たりしないでください。**

### ■ 警告および注意表示

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### ■ 絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

# ⚠警告


厳守

**本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器、および携帯電話機のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。**


電源プラグを抜く

**異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。**

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。


分解禁止

**修理・改造・分解はしないでください。**

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。


禁止

**装置内部へ異物をいれないでください。**

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因となります。


水濡れ禁止

**本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。**

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


禁止

**本製品(ソフトウェアも含む)は日本国内仕様です。**

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。


禁止

**本製品は下記のような場所で使用および保管しないでください。**

故障の原因となります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- スピーカの近くなど、強い磁気の影響を受ける場所




## 温度差のある場所への移動について

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因となります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。




## 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。

操作は安全な場所に車を止めてから行ってください。また、歩きながらの使用も事故の原因となりますのでおやめください。




## 雨中など、水滴のある場所では使用しないでください。

本製品は、防水構造ではありません。

雨中など、水滴のある場所で使用すると、故障の原因となりますのでおやめください。




## 自動車の中ではパソコンを以下の場所に設置しないでください。

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転の妨げになるところ
- 同乗者に危険があると思われるところ
- 不安定なところ
- 灰皿の上
- 熱くなるところ
- 直射日光のあたるところ
- 前方の視界を妨げるところ
- パソコンの画面がフロントガラスに映り込むようなところ（夜間）




## 夏場の車内など、高温になる場所に放置しないでください。

本製品の変形・故障や電池の不良の原因となるだけでなく、使用される携帯電話機やパソコンによっては火災や故障の原因となります。

その他の使用環境については、使用される携帯電話機およびパソコンの取扱説明書に従ってください。




## 本製品やケーブルは運転や移動を妨げない場所に設置してください。

本製品やケーブルの引き回しによっては、運転や移動の妨げになる場合があり、事故の原因となります。

また、ドアを開けたり、車を乗り降りするときに、ケーブルにひっかからないようにご注意ください。

# ⚠ 注意




### 船舶・航空機の主航法装置としてや、登山などの主地図として使用しないでください。

GPS 信号自体の測定誤差が出たり、本製品のバッテリー不足などで現在位置が正確に確認できなくなり、事故やけがの原因となることがあります。本製品は、専門的な計測器としての使用を目的とした開発・製造はされていません。




### 正しい手順で操作してください。

正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器、携帯電話機のメーカーが指示している警告、注意事項を遵守してください。




### 決められた電流内で使用してください。

本製品を USB HOST（パソコン）または USB ハブの出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用すると故障する恐れがあります。




### 故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンや携帯電話機から取り外してください。




### シンナー・ベンジン・アルコールで拭かないでください。

シンナー・ベンジン・アルコールで本製品を拭くと、変形や変色の恐れがあります。




### 無線機器などの近くで使用しないでください。

無線機器、金属物、情報機器などを近接して使用する場合は、性能劣化を招く恐れがありますので、ご検討の上ご使用ください。




### 本製品本体および USB ケーブルを振りまわさないでください。




### 本製品は、精密電子機器です。強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用および保管しないでください。




### 本製品を曲げる、強い力や衝撃を加える、落とす、物を上にのせることはしないでください。




### 本製品を携帯電話機に接続したままズボンのポケットなどに入れないでください。

座ったときなどに大きな力が加わり、破損する恐れがあります。




**本製品を携帯電話機のコネクタに対し、取り付け、取り外しを行う際は、必ず差し込み口に対してまっすぐになるようにしてください。**

無理な取り付け、取り外しを行うと、コネクタ部が破損する恐れがあります。




**本製品を取り付けた状態で携帯電話機を振り回さないでください。**

本製品および携帯電話機を破損する恐れがあります。

## 電池について

本製品はニッケル水素電池およびアルカリ電池を使用します。




**指定の電池以外は使用しないでください。**

ニッケル水素電池およびアルカリ電池以外は使用しないでください。
指定の電池以外を使用した場合、本製品の故障の原因となります。

## 電池の正しい使い方

**・電池の＋と－を逆にして使用しないでください。**

電池を本製品に入れるとき、電池の＋と－の方向を確かめてから入れてください。

**・ショートさせないでください。**

・電池の＋と－を金属類などでつないでショートさせると、電気が一度に流れて電池が発熱したり破裂するなどして、ケガをすることがあります。
・電池を持ち運んだり保管するときは袋に入れるなどして、ネックレスやキーホルダーなどの金属と直接触れないようにしてください。

**・電池の液が目に入ったら、すぐに水で洗い流してください。**

誤って漏れた液が目に入った時にはこすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流して、その後、医師の治療を受けてください。そのままにしておくと、失明などの原因となります。

・電池を火の中に投入しないでください。
- ・電池を火の中に入れたりすると、電池の中の物質が膨張して破裂することがあり、危険です。
- ・電池を直射日光の当たる所やストーブなどの付近に放置しないでください。

・乳幼児の手の届くところに放置しないでください。
- ・電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・万一電池を飲みこんでしまったらすぐに医師と相談してください。
- ・電池を本製品に入れている時にも、乳幼児が電池を触らないように注意してください。

・電池の液が皮膚や衣服についた時は、すぐに水で洗い流してください。
- ・電池から漏れたアルカリ液が皮膚についた時にはこすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流して、その後、医師の治療を受けてください。そのままにしておくとやけどのような症状の原因となります。
- ・電池から漏れたアルカリ液が衣服についた時は、衣服をすぐに脱いできれいな水で十分洗い流してください。そのままにしておくと衣服の繊維をおかしたり、液が皮膚についてやけどのような症状になります。

・電池の廃棄について
- ・ニッケル水素電池の廃棄にあたっては、ショート防止のため、端子を絶縁テープなどで止め、「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに置いてあるリサイクルボックスに入れてください。
- ・アルカリ電池の廃棄にあたっては、ショート防止のため、端子を絶縁テープなどで止め、地方自治体の条例に基づいて廃棄してください。

## 使用上の注意

・本製品をパソコンに接続している場合で、添付の地図ソフトや「GeoSeek GPS」を使用中は、本製品の取り外しは行わないでください。正常な動作ができなくなります。
・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」、「ACPI機能」やパソコンメーカー独自の省電力機能には対応しておりません。
本製品を使用する場合、これらの機能はあらかじめ無効にしてください。
・パソコンの機種や、本製品の取り付け位置によっては、パソコンから発生するノイズによって性能が劣化する恐れがあります。
・1.5GHz帯を利用している携帯電話機などを本製品の近くで使用すると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなる場合があります。
・本製品のラベルをはがしたり、文字などを記入しないでください。
・本製品にラベルを重ねて貼らないでください。
・加熱、火中投入はしないでください。
・分解、加圧変形はしないでください。
・強制放電や大電流、過放電はしないでください。
・使用する際には必ず取扱説明書または注意書きをよく読んでください。
・改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

### Readme.docを必ずお読みください

**添付の「PDC-GPSサポートソフト」CD-ROMのルートフォルダにある「Readme.doc」には、最新の注意事項など、大切な事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。**

**読み方⇒**「PDC-GPSサポートソフト」をCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータ上でCD-ROMドライブのルートフォルダにある「Readme.doc」アイコンをダブルクリックします。

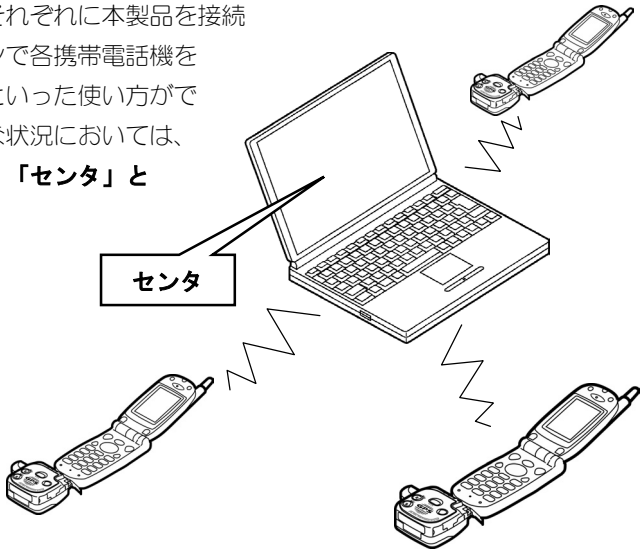
# お読みになる前に

## 本書での呼び方

| 呼び方 | 意味 |
|---|---|
| Windows XP | Microsoft® Windows® XP Professional Operating System<br>および<br>Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System |
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System |
| Windows Me | Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System |
| Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび<br>Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System<br>の総称 |
| Windows | 上記Windowsの総称 |
| 携帯電話機 | NTTドコモiモード対応携帯電話 |
| アダプタ | 本製品 |
| 長押し | ボタンを２秒間押し続けること |

## 「センタ」はパソコンのこと

複数の携帯電話機それぞれに本製品を接続し、一台のパソコンで各携帯電話機をメールで管理するといった使い方ができます。このような状況においては、**パソコンのことを、「センタ」と呼びます。**



## 「サインポスト」は目的地のこと

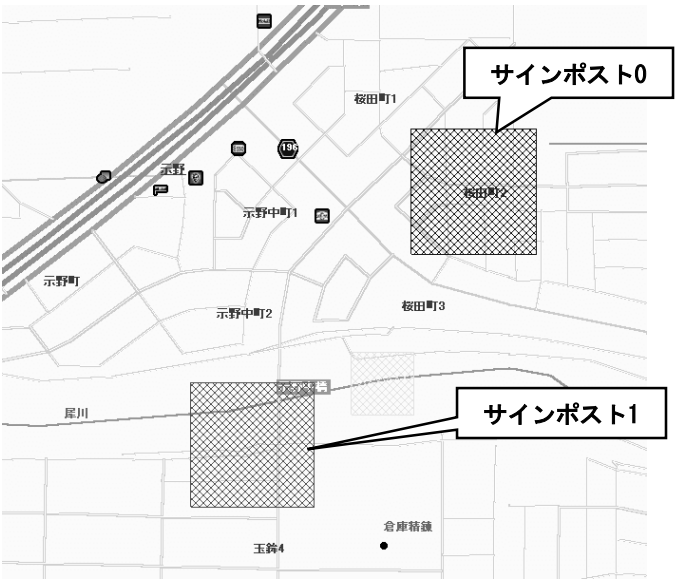
本製品には、地図上であらかじめ設定したエリア（目的地）に進入したら、LEDとブザーでお知らせする機能があります。

この時、**“あらかじめ設定したエリア”のことを「サインポスト」と呼びます。**

また、本書内では説明する内容にあわせて、「サインポストエリア」とも呼んでいますが、いずれも同じ意味です。

サインポストは5個所まで設定できます。それぞれ「サインポスト0」、「サインポスト1」、「サインポスト2」…と呼んでいます。

▼ サインポスト設定イメージ




**注意！**

**上記画面はサインポストの設定イメージです。「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」では、地図上で設定されているサインポストエリアの矩形範囲を確認することはできません。中心には旗のアイコンが表示されます。**

# 受信する電波と測定誤差について

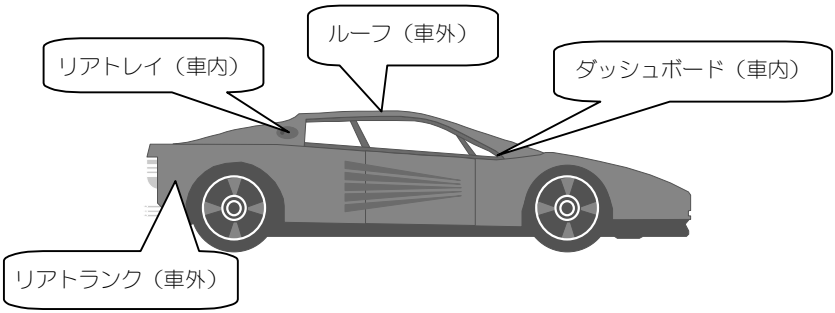
本製品は、GPS衛星の電波を受信して測定を行っています。

## GPS信号の受信について

本製品を以下の場所に設置したり移動した場合は、GPS 信号が受信できなくなり、現在位置が測定できなかったり、実際の位置との不一致が生じたりします。

●車内で、天井に屋根やルーフレールがある場所

**※ 車の屋根やルーフレールでも GPS 信号がさえぎられます。車内で使用する場合は、本製品をダッシュボードのフロントガラス付近やリアトレイのリアガラス付近に固定してください。**




●トンネルの中や地下
●ビルの駐車場
●屋内
●高層ビルの間
●高架橋の下
●密集した樹木の間
●本製品のまわりに障害物があるとき



***注意！***

**1.5GHz 帯を利用している携帯電話機などを本製品の近くで使用すると、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなる場合があります。**

## パソコンのノイズによる電波障害について

お持ちのパソコンによってはパソコンから発生するノイズによって GPS 信号の受信が妨げられる場合があります。

## GPS衛星自体による測定誤差について

本製品は**３個以上の GPS 衛星から電波を受信すると**、自動的に現在位置を測定します。ただし、場合によっては数メートル～十数メートルの誤差が生じることがあります。
また、GPS 衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。



***注意！***

**・車内でご使用になる場合、夏場等は車内温度が高くなりますので、ダッシュボードに本製品を置かないでください。熱による故障の原因となります。**
**・本製品は、防水ではありません。雨天時に外（車の屋根など）で使用しないでください。**

# はじめに

*箱を開けてから、作業に取りかかるまでの準備を行います。*




**製品特徴** 2ページ

本製品の特徴を説明します。



**箱の中の確認** 3ページ

箱の中にはどんなものが入っているか確認してください。



**動作環境** 5ページ

本製品が動作する環境について説明します。



**各部の名称と機能** 9ページ

本製品の各部の名称とその機能を説明します。

# 製品特徴

## ● 携帯電話機に現在地をスグ表示

携帯電話機に接続された状態でスイッチ1(WEB)を押すと、地図サイト上で現在地周辺の地図を表示します。

## ● 現在地をメールで送信

携帯電話機を接続した状態でスイッチ2(MAIL)を押すと、メール本文編集画面に現在地の緯度・経度情報等を記述。相手にメールすれば現在地を簡単に伝えられます。

## ● 現在地を内部メモリに簡単保存

本製品単体の状態でスイッチ3(REC)を押すと現在地の位置情報を内部メモリに1000件まで記憶できます。あとでパソコンにダウンロードすればパソコンの地図ソフト上で通った場所（スイッチ3(REC)を押した地点）を確認できます。

## ● 自動で定期的に位置情報を保存

定期的にログ（位置情報）を測位する設定にしておけば、あらかじめ設定した間隔で位置情報を内部メモリに、自動で記憶します。

## ● サインポスト機能を搭載

サインポスト（目的地）を設定しておけば、サインポストエリアに進入した事を、LEDやブザーでお知らせします。

## ● 座標を表示

携帯電話機の画面に、現在地の緯度・経度を数値で表示します。

## ● パソコンとUSB接続が可能

簡単GPS!!

USBポートを搭載していますので、パソコンに接続すればUSB接続のGPSアダプタとしても使えます。
現在地をリアルタイムに地図上でプロット（表示）できます。



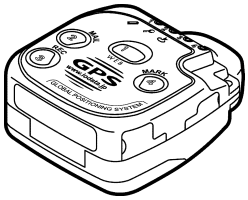
***注意！***

**地図サイトへのアクセスや、メールの送信には、別途通信料がかかります。**

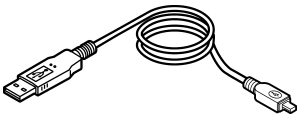
# 箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。

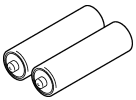
箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。



☐ PDC-GPS（１台）



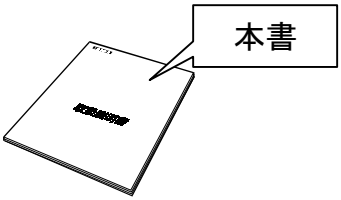
☐ USBケーブル（１本(１m)）



☐ 単４型アルカリ電池（２個）



☐ PDC-GPSサポートソフトCD-ROM




☑ 取扱説明書（１冊）



☐ ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5
for I-O DATA

☐ ハードウェア保証書

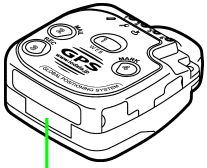
☐ ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5
ユーザー登録はがき

※ インストール時に必要なシリアル番号が記載されています。

## ユーザー登録・サポートソフトのダウンロード・地図ソフトのインストールについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の底面に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。
※ シリアル番号は本製品に貼られている12桁（ 例：ABC0987654ZX ）のものです。
・シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒http://www.iodata.jp/regist/
・弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
⇒http://www.iodata.jp/lib/




シリアル番号

▼ここに「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]5ユーザー登録はがき」に記載されているシリアル番号（16桁の英数字）をメモしてください。

・シリアル番号は「ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]5ユーザー登録はがき」に印字されている16桁のものです。シリアル番号は、インストールの際に必要です。

# 動作環境

本製品は、パソコンと接続したり、携帯電話機と接続して使うことができます。それぞれの、環境で動作が可能かどうか確認してください。
携帯電話機については、7ページ【対応携帯電話機と制限事項】をご覧ください。

## 対応パソコン

| | |
|---|---|
| 対応機種 | Pentium 以上の CPU を搭載し、USB ポートをもつ以下の機種<br>・NEC PC98-NX シリーズ<br>・DOS/V マシン<br>（弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。） |
| 対応 OS<br>（日本語版のみ） | ・Windows XP※1<br>・Windows 2000※2<br>・Windows Me<br>・Windows 98(Second Edition を含む) |
| メモリ | 16M バイト以上 |
| CD-ROM ドライブ | 添付の CD-ROM をパソコンにインストールするために必要。 |
| その他 | 地図上で現在位置を表示するためには、添付の「ゼンリン電子地図帳Ｚ［zi:］5 for I-O DATA」のインストールが必要です。 |

**※1 インストールの際は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。**
**※2 インストールの際は、「Administrator権限」のアカウントでログオンしてください。**

## 添付の「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」を使用するための追加条件

添付の「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」を使用するには、対応パソコンに対し、さらに以下の条件があります。

| | |
|---|---|
| ハードディスク | 600Mバイト以上の空き容量<br>（FAT16ファイルシステムの場合、800Mバイト以上の空き容量が必要です。すべてのデータをインストールする場合は、別途容量が必要になります。） |
| メモリ | 32Mバイト以上（64Mバイト以上を推奨） |
| ディスプレイ | ・High Color（16ビット）以上<br>・1024×768ドット以上 |
| マウス | Microsoft Intellimouseに対応 |
| ブラウザソフト | Microsoft Internet Explorer 5.5以上<br>（本ソフトには、Microsoft Internet Explorer 6.0が添付されています。） |



**注意！**

- **「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」の全ての機能を使用するには、インターネットに接続可能なパソコンが必要です。**
- **「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」は、Post Script系プリンタには対応しておりません。**

## 対応携帯電話機と制限事項

・各携帯電話機の各種設定方法や操作方法については、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。
・ダイヤルロック機能（携帯電話機のボタンを押しても動作しない機能）がオンの状態では、本製品から携帯電話機を操作できません。
・折りたたみ式携帯電話機の場合は、開いた状態で本製品の機能を使用してください。
・携帯電話機と本製品を接続する場合は、必ず携帯電話機の電源をオンにした状態で接続してください。
・携帯電話機の暗証番号を本製品に設定（45 ページ[⑪PDC 暗証番号]）するか、携帯電話機の暗証番号を「0000」に設定してください。

以下が対応携帯電話機です。機種ごとに制限事項があります。次ページで各制限内容を説明しています。最新情報については、弊社ホームページをご覧ください。

| 機種名 | 製造番号 | 次ページの参照項目 | 自動待ち受け戻し | 送信メール保存可能件数 |
|---|---|---|---|---|
| D210i | DE/DF | **※1 ※7 ※9 ※11** | 可 | 50 |
| D211i | DG | **※1 ※7 ※9 ※11** | 可 | 50 |
| D503i | BF/BG | **※1 ※7 ※9 ※11** | 可 | 50 |
| D503iS | UA/UB | **※1 ※7 ※9 ※10 ※11** | 可 | 50 |
| F210i | DB | **※3 ※9 ※11** | 可 | 50 |
| F211i | DD | **※3 ※9** | 可 | 50 |
| F503i | BD/BE | **※3 ※9 ※11** | 可 | 100 |
| F503iS | UA | **※3 ※9** | 可 | 100 |
| N210i | DD/DE/DF/DG/DH | **※2** | 可 | 50 |
| N211i | DI/DJ/DK | **※1** | 可 | 5 |
| N503i | BI/BJ/BK/BL/BM/BN | **※1** | 可 | 5 |
| N503iS | UD/UE/UF/UG/UH | **※1** | 可 | 5 |
| N504i | BO/BP | **※1** | 可 | 10 |
| P210i | DE/DF | **※3 ※6** | 不可 | 50 |
| P211i | DI/DJ/DK | **※3 ※6 ※8 ※12** | 不可 | 50 |
| P503i | BH/BI/BJ | **※3 ※6 ※8** | 不可 | 100 |
| P503iS | UA/UB/UC/UD/UE | **※3 ※6** | 不可 | 100 |
| P504i | BK/BL | **※3 ※6** | 不可 | 100 |
| SO210i | DA/DB | **※1 ※4 ※5 ※7** | 可 | 50 |
| SO211i | DD/DE | **※1 ※4 ※5 ※7** | 可 | 100 |
| SO503i | BB/BC/BD | **※1 ※4 ※5 ※7 ※11** | 可 | 20 |
| SO503iS | UA | **※1 ※4 ※5 ※7 ※11** | 可 | 20 |
| SO504i | BE/BF | **※1 ※4 ※5 ※7** | 可 | 100 |

※1　携帯電話機にその機種の未送信メール保存可能件数以上の登録がある場合、メールの作成ができません。

※2　携帯電話機にその機種の送信メール（送信メールと未送信メールの合計）保存可能件数以上の登録がある場合、メールの作成ができません。

※3　現在携帯電話機に保存されているメール件数に関わらずメールの作成は行えますが、メール作成後、既存の未送信/送信済メールは消去されます。

※4　予測変換機能はあらかじめオフにしておく必要があります。

※5　マイセレクトメニューは初期状態にしておく必要があります。（メール項目を上から2番目に設定する。）

※6　自動待ち受け戻しとは携帯電話機の表示状態を本製品のキーエミュレーション機能を利用して待ち受け画面に戻す機能です。
不可となっている機種では待ち受け画面表示状態でない場合、正常に動作しませんので手動で待ち受け画面に戻す必要があります。

※7　Gメールなどのメール本文マクロに漢字は使用できません。また、全角カタカナは半角カタカナで表示されます。（使用可能文字は、「半角英数字」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」のみです。）

※8　携帯電話機にメール着信がありそのままの状態にある場合、「センタ問い合わせ」と「Internet接続」機能は使用できません。この場合次のいずれかの方法で携帯電話機の画面を通常の待ち受けに戻してください。
・新着メールの内容を確認する
・携帯電話機の電源を入れ直す

※9　機種確認処理中に本製品を外すと携帯電話機が正常の状態に戻らない場合があります。この場合は携帯電話機の電源を入れ直してください。

※10 本製品「16芯コネクタ」との接続コネクタの形状が挿し込みにくい形状です。コネクタを壊さない様に気をつけてください。

※11 URLの文字数は100文字までです（※11に該当しない機種は256文字です）。WEBリンク展開後の文字数が100文字を越えないようにしてください。

※12 メールの本文作成画面からは、自動的に待ち受け画面に戻ることができません。（メール本文作成画面でWEBリンクボタンを押した場合は、自動で戻ることができません。手動でメール本文画面を閉じた後で、WEBリンクなどのボタン操作をしてください。）



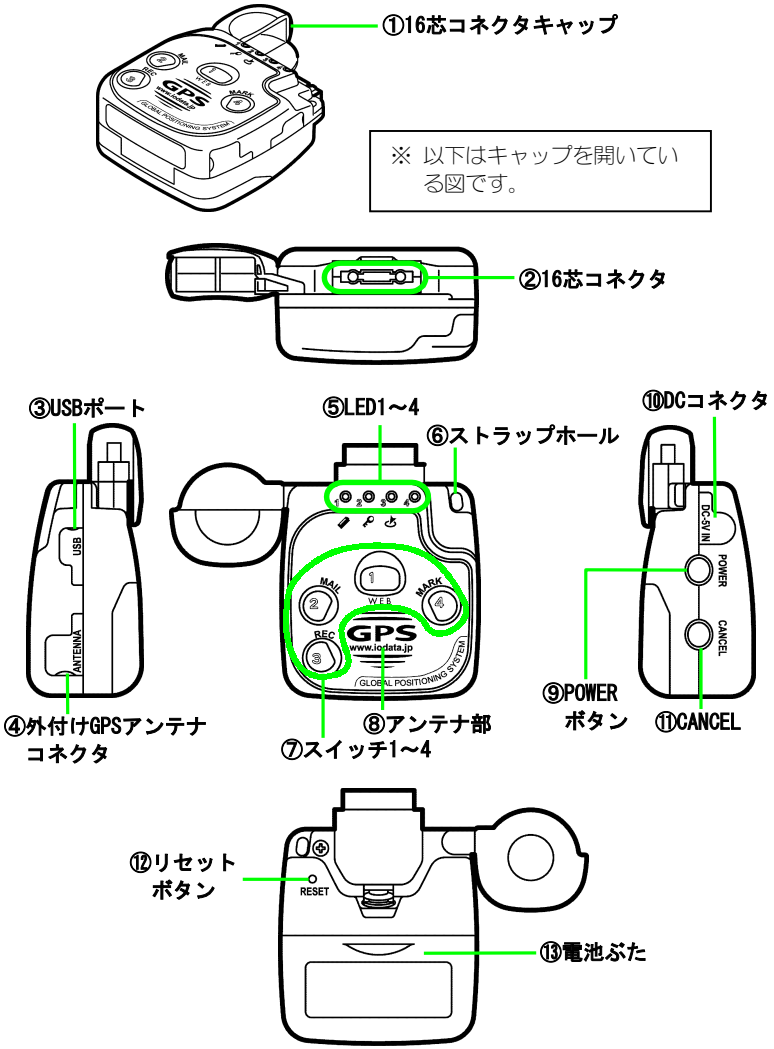
**参考**

**WEB リンクとは、本製品メモリ内の URL リストをもとに、特定の URL へアクセスする機能のことです。**

# 各部の名称と機能

各部の名称および機能の確認を行います。機能については次ページの表をご覧ください。

## PDC-GPS本体



| | |
|---|---|
| ①16芯コネクタキャップ | 携帯電話機と本製品を接続する16芯コネクタのキャップです。本製品を携帯電話機から離して持ち運ぶ際には、16芯コネクタを保護するために、必ずキャップをしてください。 |
| ②16芯コネクタ | 携帯電話機と接続するためのコネクタです。 |
| ③USBポート | 添付のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続するためのポートです。 |
| ④外付けGPSアンテナコネクタ | 本製品単体では衛星を捕捉しづらい場合に、外付けのGPSアンテナを接続するためのコネクタです。 |
| ⑤LED1～4 | GPSアダプタの動作状態によって各LEDが点滅します。<br>（次ページ【LED1～4の動作】参照） |
| ⑥ストラップホール | お好みで、市販のストラップを取り付けてください。 |
| ⑦スイッチ1～4 | 次ページ【スイッチ1～4の機能】参照。 |
| ⑧アンテナ部 | GPS衛星からの電波を受信する部分です。<br>※ 衛星受信時には、必ず本製品のアンテナ部（ロゴ面）が上になるように（空を向いているように）してください。上にしないと正常に受信できません。 |
| ⑨POWERボタン | 長押し（2秒押し）することにより、電源のオン/オフを行います。電源オン時は、LED1(赤)が常時点滅します。 |
| ⑩DCコネクタ | DCアダプタを接続するためのコネクタです。 |
| ⑪CANCELボタン | 現在の処理、動作をキャンセルします。 |
| ⑫リセットボタン | 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻します。 |
| ⑬電池ぶた | 指定の電池を入れて使用してください。<br>（14ページ【電池を入れる】参照） |

## ●LED1～4の動作

LED1～4には、それぞれ以下の意味があります。（消灯している場合は、意味はありません。）

| LED番号 | 点滅 | 各LEDの意味 |
|---|---|---|
| LED1（赤） | 遅い点滅 | 電源がオンの状態 |
| | 速い点滅 | 電池残量が少ない場合 |
| LED2（黄） | 遅い点滅 | （遅い点滅にはなりません） |
| | 速い点滅 | GPSのメール処理中 |
| LED3（緑） | 遅い点滅 | 2D測位中（15ページ【電源をオンにする】参照） |
| | 速い点滅 | 3D測位中（15ページ【電源をオンにする】参照） |
| LED4（オレンジ） | 遅い点滅 | 定期ログ動作中 |
| | 速い点滅 | サインポスト動作中 |



**参考**

**2D 測位では緯度・経度を、3D 測位では緯度・経度・高度を測位します。**

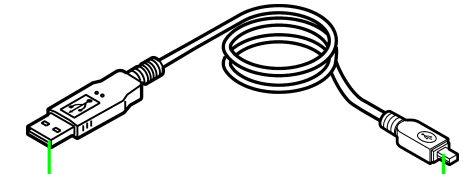
## ●スイッチ1～4の機能

スイッチ1～4は以下の機能をもっています。

| スイッチ | 押下（ブザー音：ピッ） | 長押し（2秒押し）（ブザー音：ピッピッ） |
|---|---|---|
| スイッチ1（WEB） | WEBリンク（28ページ参照） | サインポスト表示（33ページ参照） |
| スイッチ2（MAIL） | Gメール作成（29ページ参照） | PDC表示（位置情報）（26ページ参照） |
| スイッチ3（REC） | 手動測位ログ（31ページ参照） | 定期測位ログ切替（31ページ参照） |
| スイッチ4（MARK） | ワンプッシュサインポスト（33ページ参照） | PDC表示（サインポスト）（33ページ参照） |

## USBケーブル

USBケーブルは、本製品をパソコンに接続する場合に使います。




| | |
|---|---|
| Aプラグ | パソコン本体（またはUSBインターフェイス）のUSBポートに接続する側のプラグです。 |
| Bプラグ（Mini B-5pinプラグ） | 本製品の「USBポート」に接続する側のプラグです。 |

**注意！**

**必ず添付の USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートに直接接続してご使用ください。添付の USB ケーブル以外のものや、USB ハブを使用した場合、動作保証できません。**

# 準備

*電池をセットしたり、各機器との接続方法を説明します。*



**電池を入れる** 14ページ

電池は＋極と－極の位置に注意してセットしてください。



**電源を入れる** 15ページ

本製品の電源のオン/オフ方法をご確認ください。



**携帯電話機と接続して使う** 17ページ

携帯電話機に接続します。



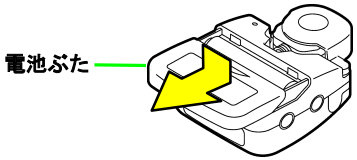
**パソコンと接続して使う** 19ページ

パソコンにドライバ、ユーティリティソフト、地図ソフトをインストールし、その後本製品をパソコンに接続します。

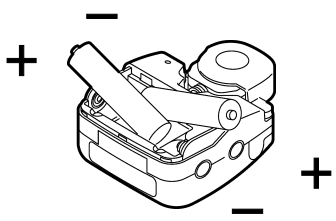
# 電池を入れる

**1** 電池ぶたを下に押し込むようにしてスライドさせて外します。

電池を入れ替える場合で、電源がオンになっているときは、POWER ボタンを長押し（2 秒押し）して電源をオフにしてください。




**2** 添付の電池を＋と－の向きに注意してセットします。




**3** セット後電池ぶたを元に戻します。

**注意！**

- **使用電池について**
  - **本製品には単 4 ニッケル水素電池、もしくは単 4 アルカリ電池を 2 本ご使用ください。**
  - **異種の電池を同時に使用しないでください。**
- **ニッケル水素電池について**
  - **ニッケル水素電池での使用時間の目安は連続使用で 6 時間です。**
  - **充電式電池の場合、充電を繰り返すごとに一回の使用時間が次第に短くなります。一回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、充電式電池の寿命とお考えください。**
    **尚、本製品には充電機能はありません。市販の充電機で充電してください。**
- **アルカリ電池について**
  - **アルカリ電池での使用時間の目安は連続使用で 8 時間です。**
- **電池残量が少なくなると、LED1(赤色)が早く点滅します。その際は、市販の電池を購入し、速やかにお取替えください。**

# 電源を入れる

## 電源をオンにする

1 本製品の POWER ボタンを長押し（2 秒押し）します。

2 電源がオンになり、LED1(赤色)が点滅することを確認します。
電源がオンになるとブザー音が「ピー」となります。

3 GPS 衛星の測位が開始し、LED3(緑色)が点滅することを確認します。
2D 測位が開始すると LED3(緑)が遅く点滅し、3D 測位が開始すると早く点滅します。
※ 状況により、2D 測位しかできない場合があります。



**注意！**

**初めて本製品を使用する場合や、長時間使用していなかった場合は、現在地の測位に時間がかかります。視界のよい場所で 5 分間程度の連続動作（3D 測位状態で 5 分間程度放置）を行ってください。**



**参考**

**2D 測位では緯度･経度を、3D 測位では緯度･経度･高度を測位します。**

## 電源をオフにする

本製品の POWER ボタンを長押し（2 秒押し）します。
全ての LED が点灯し、ブザー音「ピッピッ」が鳴り、電源がオフになります。



**注意！**

**メールを作成中や、送信中に電源をオフにすると、メールの処理は正しく行われず、処理は無効となります。**

## 使用中に電池残量がなくなった場合

電池がなくなると、以下のようになります。電池を取り替えてください。

・電池残量がなくなるとLED1(赤色)が早く点滅し、ブザー音が「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」と鳴ります。
・そのまま使用を続けると、自動的に電源がオフになります。



***注意！***

**電池の取り替えは、必ず本製品の電源をオフにし、携帯電話機やパソコンから外した状態で行ってください。(【電池を入れる】14 ページ参照)**

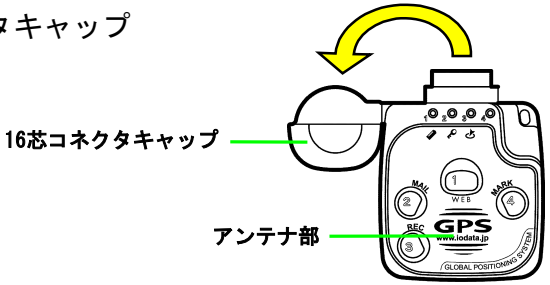
# 携帯電話機と接続して使う

携帯電話機に接続します。

## 16芯コネクタの向きを携帯電話機に合わせる

本製品のアンテナ部は携帯電話機に接続した際に、常に空を向くようにしなくてはなりません。このため、ご使用の携帯電話機によっては、本製品の16芯コネクタを180°回転させる必要があります。
必要がなければ次ページ【携帯電話機に接続】の作業を行ってください。

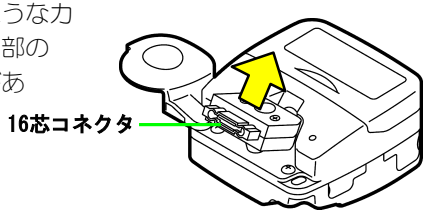
**1** 16芯コネクタキャップを開きます。




**2** 16芯コネクタを本体から浮かせるようにして、外します。

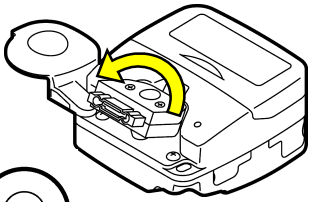
16芯コネクタは、本体内部とケーブルで接続されています。静かに外し、内部のケーブルを切断しないようにしてください。

※ 16芯コネクタを引き抜くような力を加えないでください。内部のケーブルを切断する恐れがあります。

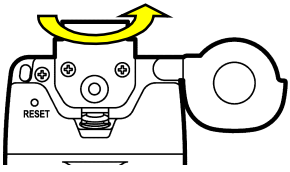



**3** 16芯コネクタを180°回転させ、本体に固定します。

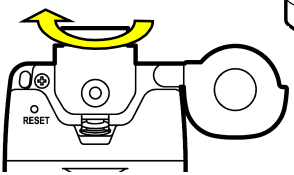
※ 同一方向に何度も回転させないでください。内部の配線が破損します。



▼ ネジのある面が表の場合の回転方向




▼ ネジのない面が表の場合の回転方向



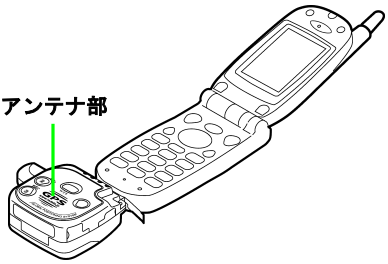
**注意！**

**16 芯コネクタを元に戻す場合は同様の手順で戻してください。だたし、手順３では、前回の手順に対して逆方向に 180° 回転させてください。**

## 携帯電話機に接続

### 1 携帯電話機の電源を入れ、携帯電話機のコネクタに、本製品の16芯コネクタを接続します。

必ず携帯電話機の電源をオンにしてから接続してください。
携帯電話機のコネクタ位置については、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。




### 2 POWERボタンを長押し（2秒押し）して電源をオンにします。

本製品が携帯電話機との接続を確認します。確認中は、LED2(黄)が早く点滅します。

※ 電源オン後、LED1～4の全てが点灯し、自動的に電源がオフになる場合は、携帯電話機が認識できていません。89ページ【携帯電話機と接続してもエラーになる…】をご覧ください。

携帯電話機と接続した場合のご使用方法を【携帯電話機で使う】（25ページ）で紹介しています。

**注意！**

**・本製品のアンテナ部が、空を向くようにして接続してください。**
**携帯電話機に接続した時、本製品のアンテナ部が空を向いていない状態になる場合は、【16 芯コネクタの向きを携帯電話機に合わせる】（前ページ）をご覧になり、16 芯コネクタを回転させてください。**
**・必ず携帯電話機の電源がオンの状態で接続してください。**
**・本製品に USB ケーブルを接続している時は、本製品のスイッチ 1～4 は使用できません。この場合は、USB ケーブルを外してください。**
**・携帯電話機のキー操作音をオフにしたい場合は、携帯電話機側の設定にてオフにしてください。**

# パソコンと接続して使う

## インストール

本製品には、GPS 信号を受信し、現在位置や GPS 衛星の状態を確認できるユーティリティ「GeoSeek GPS」と、地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」が入っています。これらをパソコンにインストールします。

※ 必ず「GeoSeek GPS」をインストールしてから「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」をインストールしてください。

### ● GeoSeek GPS のインストール

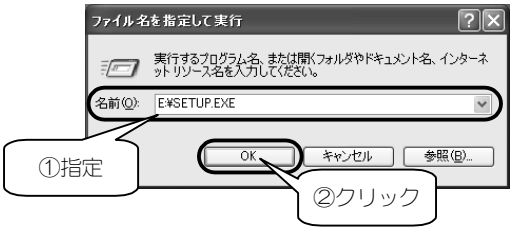
「GeoSeek GPS」をインストールすると、同時に「USB ドライバ」もインストールされます。

**※ 本製品はまだパソコン本体に接続しないでください。**

**1** 「PDC-GPS サポートソフト」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を起動します。

**2** [名前]で[E:¥SETUP.EXE]（CD-ROM ドライブが E ドライブの場合）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。

▼ CD-ROM ドライブが E ドライブの場合




**3** 画面の指示に従い、インストールを進めてください。

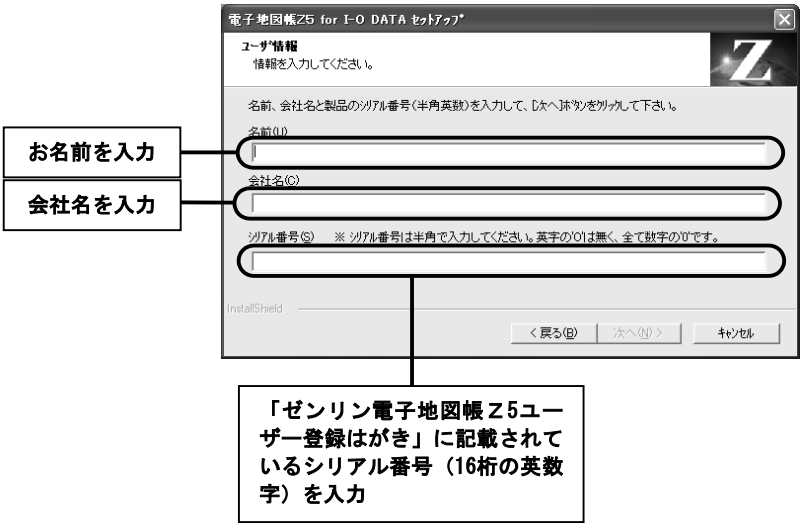
## ● ゼンリン電子地図帳 Z[zi:]5 for I-O DATA のインストール

※ 「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」をインストールする前に、必ず「GeoSeek GPS」をインストールしてください。（前ページ参照）

ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、インストーラが自動的に起動します。画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

**参考**

**・インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を起動し、[名前]で[E:¥AUTORUN.EXE]を指定し、[OK]ボタンをクリックしてください。**
**・インストール中の[ユーザー登録]画面では、以下のように必要事項を入力してください。**





**注意！**

・**運転しながら現在位置を確認したり、「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」を操作したりすることは絶対にお止めください。事故の原因となり、大変危険です。**
**本地図ソフトは同乗者によるナビゲーションとしてお使いください。**
・**本地図ソフトで GPS 機能を使用中は、本製品の取り外しは行わないでください。**
**地図ソフトが正常に動作しなくなる恐れがあります。**
・**本地図ソフトの詳細については、[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[ゼンリン電子地図帳Z5 ヘルプ]をご覧ください。**
・**本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」、「ACPI 機能」やパソコンメーカー独自の省電力機能には対応しておりません。**
**本製品を使用する場合、これらの機能はあらかじめ無効にしてください。**
・**インストールだけでは詳細地図データはインストールされませんので、ご使用時には、「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしておくか、あらかじめ[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5 データインストールユーティリティ]で詳細地図データをインストールしてください。**
・**地図の道路上に正確に位置表示されないことがあります（マップマッチングに対応していないため）。**

## 添付地図ソフト に関するお問い合わせ

添付の地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」に関する使用方法、その他ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

● **株式会社ゼンリン　お客様相談室**

**TEL　03-5259-5064**

**FAX　03-5259-5073**

**e-mail　support@zenrin.co.jp**

受付時間　　毎週月曜日～金曜日

10:00～12:00/13:00～17:00

※ 祝日・夏期休暇・年末年始などゼンリン社休日は
お休みとさせていただきます。



**注意！**

**お問い合わせの際は、以下をメモした上で、お問い合わせください。**

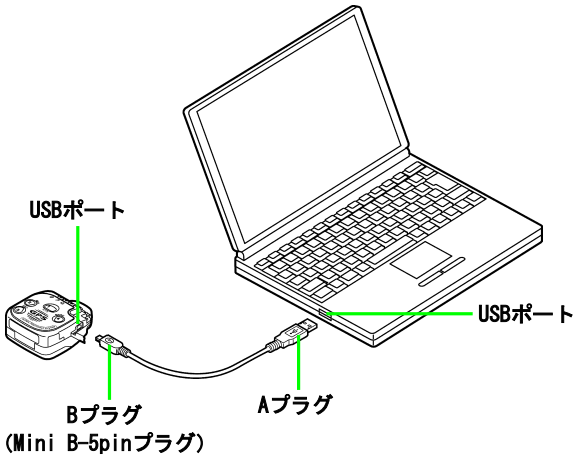
- **お客さまのお名前/ご住所/お電話番号**
- **製品名（ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA）**
- **製品のシリアルNo.**
  **（添付の「ゼンリン電子地図帳Z5ユーザー登録はがき」に記載されている シリアル番号(16桁の英数字)）**
- **ご使用パソコンの本体メーカー/機種**
- **ご使用Windows OSの種類/バージョン**
- **ご使用プリンタのメーカー名/機種　（印刷に関するご質問の場合）**
- **お問い合わせの内容**

## パソコンに接続

**1** USBケーブルのAプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続します。

パソコンのUSBコネクタ位置についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

**2** USBケーブルのもう一方（Bプラグ(Mini B-5pinプラグ)）を本製品のUSBポートに接続します。




**3** 本製品のPOWERボタンを長押し（2秒押し）して電源をオンにします。

LED1(赤)が遅く点滅します。

次は、次ページ【接続後の確認】で本製品が正しくパソコンに認識されているか確認してください。

**注意！**

**・必ず添付の USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートに直接接続してご使用ください。**
**・添付の USB ケーブル以外のものや、USB ハブを使用した場合、動作保証できません。**
**・本製品に USB ケーブルを接続している時は、本製品のスイッチ 1～4 は使用できません。この場合は、USB ケーブルを外してください。**

## 接続後の確認

**1** Windows XP の場合

[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックします。

Windows 2000/Me/98 の場合

[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックします。

**2** Windows XP の場合

[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows 2000/Me/98 の場合

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

**3** [ポート（COM と LPT）]をダブルクリックし、下の表示を確認します。

Windows XP の場合

「EPSON PDC-GPS（COMx）」と表示されます。

Windows Me/98 の場合

「PDC-GPS COM Emulation Port（COMx）」と表示されます。

※ “COMx”の”x”の部分には数字が入ります。何番になるかはご使用の環境により異なります。




表示が正しくでていれば大丈夫です。

パソコンと接続した場合のご使用方法を【パソコンで使う】（35ページ）で紹介しています。

# 携帯電話機で使う

*携帯電話機に接続して使う方法を、使用例を紹介しながら説明しています。*


**測位座標を表示する** 26ページ

測位した位置（測位座標）を表示します。

**地図サイトに位置を表示する** 28ページ

地図を表示し、測位情報をもとに、地図上で表示します。

**現在位置/WEB情報をメールで送信する** 29ページ

位置情報を他の携帯電話機などに、メールで送信します。

**ログを記憶する** 31ページ

測位情報をログとして、本製品に記憶します。

**サインポスト機能を使う** 33ページ

あらかじめ設定したエリアに進入すると、LEDやブザーでお知らせします。

**その他の機能** 34ページ

CANCELボタンについて説明します。

# 測位座標を表示する

GPS衛星からの電波を受信し、現在位置を測位します。

**1** **携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。**

【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照

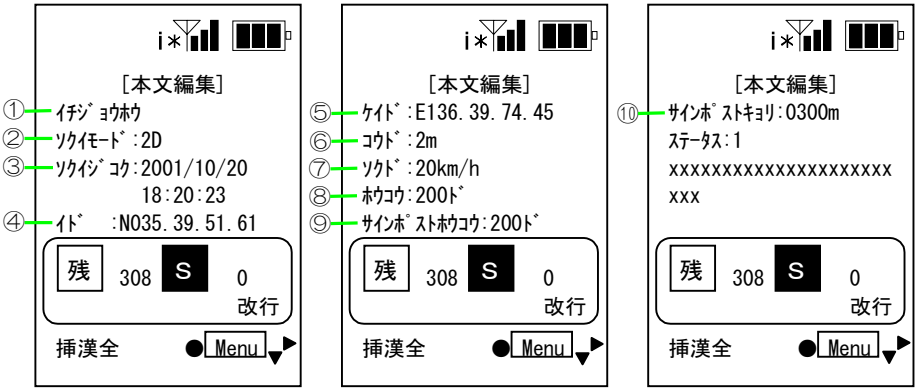
**2** **本製品のスイッチ2(MAIL)を長押し（2秒押し）します。**

しばらくするとメール編集画面に測位した位置情報が表示されます。

※ 表示が終了するまで、携帯電話機の操作はしないでください。

※ 測位情報はリアルタイムなものではありません。表示できる位置情報は最新の測位情報のみです。移動した場合は再度その場所で測位し直してください。

▼ 携帯電話機の位置情報表示画面例（各項目については次ページ参照）




**活用例**

・ハイキングやツーリングなどで緯度・経度線がある地図を見る時に便利です。
・iモードが利用できないところでも使用できます。



▼ 位置情報表示画面の各項目

| 表示項目 | 内容 |
|---|---|
| ①ｲﾁｼﾞｮｳﾎｳ | 表示内容のタイトルを表示します。 |
| ②ｿｸｲﾓｰﾄﾞ | 測位状態を表示します。<br>No：未測位状態を表します。<br>2D：2D測位状態を表します。<br>3D：3D測位状態を表します。 |
| ③ｿｸｲｼﾞｺｸ | 位置情報を測位した時刻を西暦/月/日/時/分/秒で表示します。 |
| ④ｲﾄﾞ | 測位した緯度を度. 分. 秒で表示します。 |
| ⑤ｹｲﾄﾞ | 測位した経度を度. 分. 秒で表示します。 |
| ⑥ｺｳﾄﾞ | 測位時の高度-999～0000～9999mで表示します。 |
| ⑦ｿｸﾄﾞ | 測位時に移動中の速度を000～999km/hで表示します。 |
| ⑧ﾎｳｺｳ | 測位時の方向を000～359°で表示します。<br>（北が000°、南が180°になります。）<br>※ 移動時の移動方向の表示です。停止時の表示は、正確なものではありません。 |
| ⑨ｻｲﾝﾎﾟｽﾄﾎｳｺｳ | サインポスト0までの方向を000～359°で表示します。 |
| ⑩ｻｲﾝﾎﾟｽﾄｷｮﾘ | サインポスト0までの距離を0000～9999mで表示します。<br>※ 距離が9999m以上の場合は9999mと表示します。 |

※ サインポスト0が未登録の場合には、[⑨ｻｲﾝﾎﾟｽﾄﾎｳｺｳ]、[⑩ｻｲﾝﾎﾟｽﾄｷｮﾘ]は“－”の表示となります。

# 地図サイトに位置を表示する

測位情報をもとに、地図サイトにアクセスし、携帯電話機に現在地の付近地図を表示します。

※ この機能は、あらかじめ【パソコンで使う】（35ページ以降）をひととおりご覧になり、51ページ【設定2タブ】内[WEBリンク設定]欄の登録を行ってください。

## 1 携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。

【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照

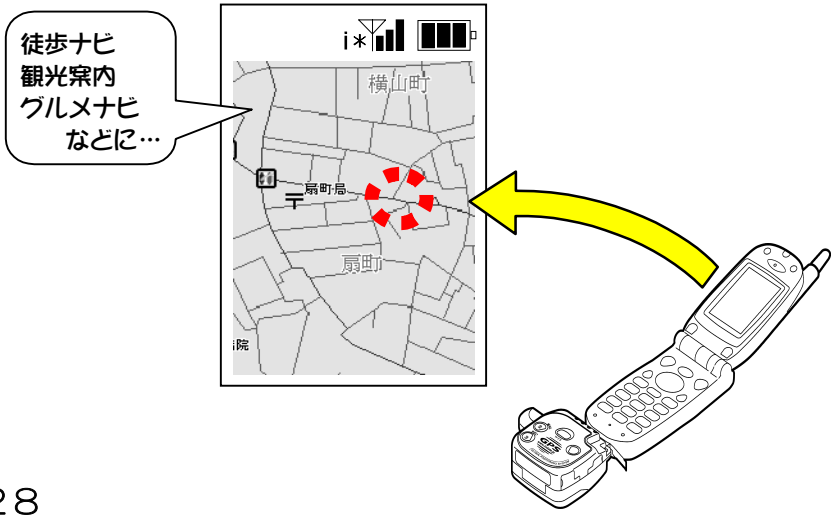
## 2 本製品のスイッチ1(WEB)を押します。

本製品の WEB リンク設定に登録されている地図サイト※にアクセスし、現在地の付近地図を表示します。

※ サイト内の情報は情報提供者が提供するものであり、株式会社 NTT ドコモが提供するものではありません。

**活用例**

- iモードの通話可能圏内ならば、地図を持ち歩かなくても携帯電話機で地図が確認きます。
- 接続する地図サイトによりいろいろな機能が利用できます。徒歩ナビ、グルメナビ、お近くの観光案内など。
  - ※ サイトによっては有料の場合があります。
  - ※ 別途通信料がかかります。



# 現在位置/WEB情報をメールで送信する

現在の位置情報やWEB情報をメールで送信します。

※ この機能は、あらかじめ【パソコンで使う】（35ページ以降）をひととおりご覧になり、51ページ【設定2タブ】の[Gメール設定]欄を設定を行ってください。

## Gメール送信

任意のタイミングで位置情報などをメール（Gメール）に記述し、GeoSeek GPSで設定した送信先アドレスに送信します。

### 1 携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。

【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照

### 2 本製品のスイッチ2(MAIL)を押します。

携帯電話機に新規メールを作成し、メール本文画面にGメールの内容を記述します（51ページ【設定2タブ】の[Gメール設定]欄での設定に従って記述されます）。

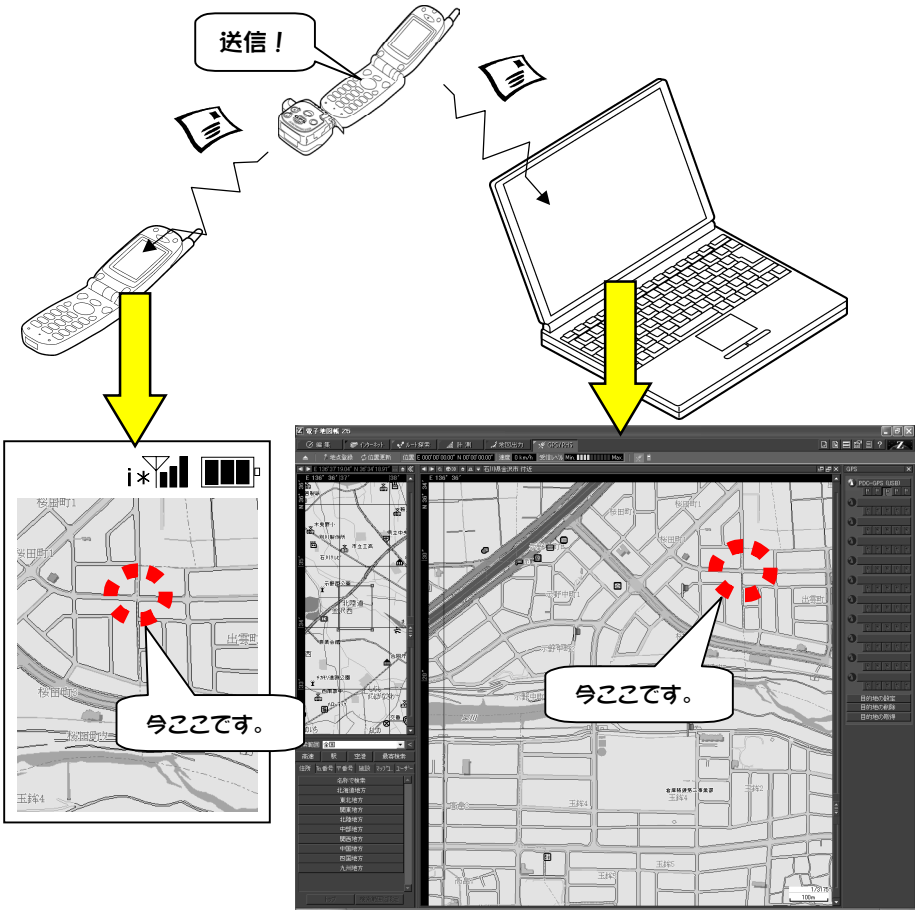
### 3 メール内容を確認し、手動で送信します。

送信方法については、ご使用の携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

※ 別途通信料がかかります。

**活用例**

・ご自宅やお友達のパソコンに現在地を送る
Gメールに「iナビリンク」が含まれている場合、そのメールをパソコンに送ることで、パソコンの「ゼンリン電子地図帳Z [zi:] 5 ｆｏｒ I-O DATA」上に現在地をプロット（表示）することができます。
・お友達の携帯電話機に現在地を送る
Gメールに「WEBリンク」が含まれている場合、そのメールをお友達の携帯電話機に送り、お友達は着信したメールのWEBリンクをクリックすることで、地図サイトを表示することができます。
※ お友達の携帯電話機でも同じ地図サイトが閲覧可能である必要があります。



# ログを記憶する

測位した位置情報を、本製品内にログとして自動的に記憶します。
ログの測位方法には「手動測位ログ」と「定期測位ログ」（次ページ）の2つの方法があります。

## 手動測位ログ

任意のタイミングで測位を行い、ログを記憶します。

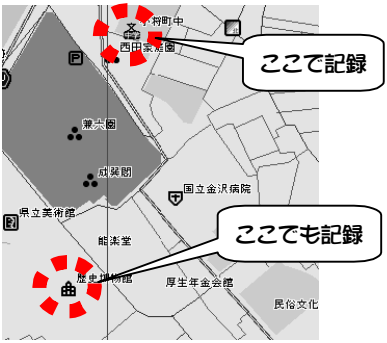
**1** **携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。**
【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照
※ 携帯電話機との接続は必須ではありません。

**2** **記録したい場所で本製品のスイッチ3(REC)を押します。**
ログを記憶します。ブザー音「ピッ」が鳴ります。
※ できるだけ空の開けた場所で行ってください。測位できていない状態で、スイッチ 3(REC)を押してもログは記憶できません。（エラー音が「ピッピッ」と鳴ります。）

**活用例**

はじめて訪れたお気に入りのお店や、また来たい場所を気軽にメモするように、記憶できます。記憶した場所は、後で地図上で確認することができます。




ここで記憶したログをパソコン上で確認する場合は、70 ページ【ログの読み出し】をご覧ください。

## 定期測位ログ

指定された時間間隔で定期的に測位を行い、ログを記憶します。

**1** **携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。**

【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照

※ 携帯電話機との接続は必須ではありません。

**2** **本製品のスイッチ3(REC)を長押し（2秒押し）します。**

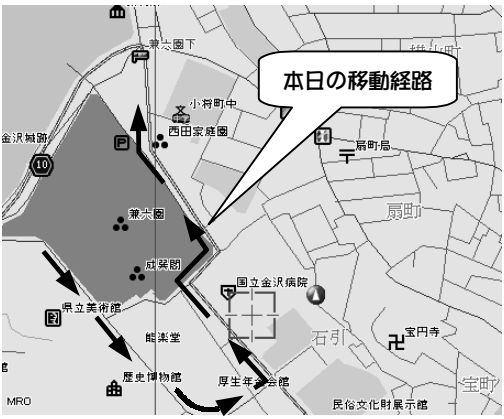
定期測位ログの停止/再開を選択することができます。

ブザー音「ピッピッ」が鳴ります。

※ 定期測位ログ動作中は LED4(オレンジ)が点滅します。

**活用例**

・一定間隔おきに、現在位置を測位しますので、移動しながら定期測位ログをとれば、後で、地図上で移動した経路を確認することができます。
後で道順を確認したり、他の人に教えたりする場合に便利です。
・ツーリングやハイキングなどの記録にも便利です。




**注意！**

**手動測位ログと定期測位ログは同じメモリ上に保存されます。ログは消去しない限り追加されていきます。尚、ログ保存数は 1000 件までです。**

# サインポスト機能を使う

サインポスト機能を使えば、予めセンタで設定したサインポストエリア（目的地）に近づいたことをLEDとブザーでお知らせします。
サインポストの設定は、パソコンの地図ソフト上で行います。
※ サインポスト機能は、あらかじめ【パソコンで使う】（35ページ以降）をひととおりご覧の上、ご活用になることをおすすめします。

## 1 携帯電話機と本製品を接続して電源をオンにします。

【携帯電話機と接続して使う】17 ページ参照
※ 「サインポスト表示」や「PDC 表示（サインポスト）」を使用しない場合は携帯電話機と接続する必要はありません。

## 2 サインポスト機能を使います。

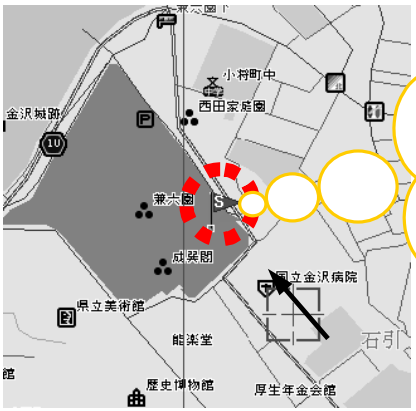
本製品を持ってお出かけください。

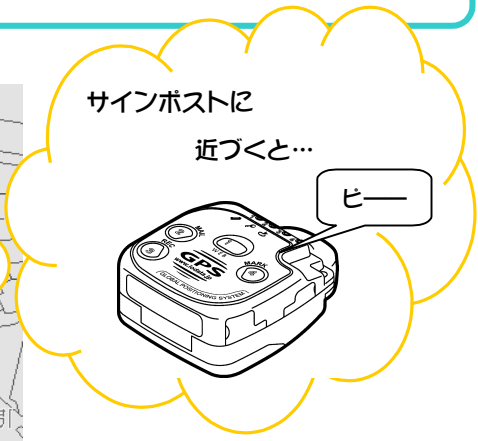
**参考**

**スイッチ1(WEB)を長押し(2 秒押し)すると、携帯電話機に1番目に設定されているサインポスト(サインポスト 0)情報を WEB リンク表示します。**

**活用例**

ハイキングや旅行、お友達との待ち合わせなどで重要な場所を登録しておけば、目的地に接近したときに知らせてくれます。ログにも情報が記録されます。



# その他の機能

## 動作をキャンセル

CANCELボタンを押すことにより、Gメール、PDC表示などの処理を中止することができます。

# パソコンで使う

*本製品は、パソコンに接続してご使用いただくこともできます。*

**※ 本製品とパソコンとの接続方法については、23ページ【パソコンに接続】をご覧ください。**



## GeoSeek GPSを使う　36ページ

添付のユーティリティソフト「GeoSeek GPS」を使ってみます。



## GeoSeek GPSの設定　38ページ

添付のユーティリティソフト「GeoSeek GPS」の各設定について説明します。


・GPSモニタメニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
・GPSモニタ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
・装置設定を起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・40
・装置設定からPDC-GPSの設定をする ・・・・43
・メニューウィンドウ ・・・・・・・・・・・・・・・・・55
・PDC-GPSの動作/停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・56
・動作に異常がある場合は初期化 ・・・・・・・57
・現在位置が表示されないときは ・・・・・・・58
・特定の場所への距離や方向を知るには・・59
・GPSアプリケーション起動を開く ・・・・・・62
・軌跡コントローラⅡを開く ・・・・・・・・・・・・65
・共通設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69




## ログの読み出し　70ページ

本製品に記憶されている位置情報（ログ）をパソコンに読み出します。



## ゼンリン電子地図帳Ｚ[zi:]5 for I-O DATAを使う　74ページ

添付の地図ソフトと連携した使い方を紹介します。

# GeoSeek GPSを使う

ここでは GeoSeek GPS を使って、リアルタイムに現在位置や衛星の状況を確認してみましょう。

※ 現在位置は緯度・経度を数値で表示します。地図上に表示するわけではありません。

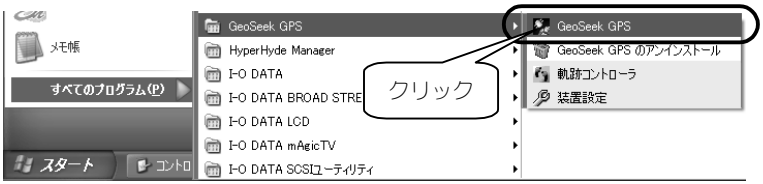


**参考**

**GeoSeek GPS の詳しい使い方は[ヘルプ]メニューをご参照ください。**

## 1 GeoSeek GPS を起動します。

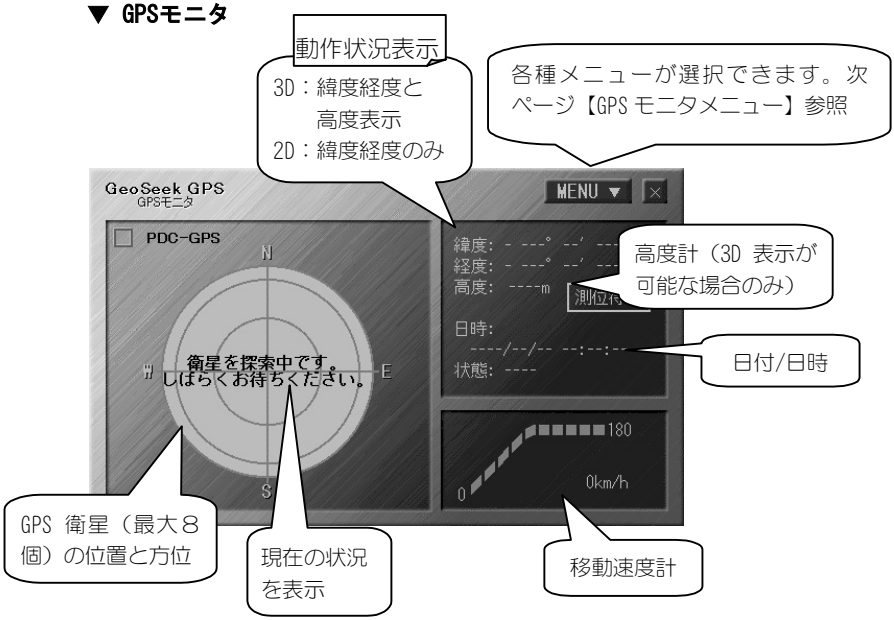
[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[GeoSeek GPS]→[GeoSeek GPS]をクリックします。



## 2 現在位置や衛星の状況が表示されます。

GPS モニタとメニューウィンドウが表示され、GPS アンテナが正しく電波を受信できれば、現在位置や衛星の状況が表示されます。

▼ **GPSモニタ**




▼ **メニューウィンドウ**（55ページ参照）



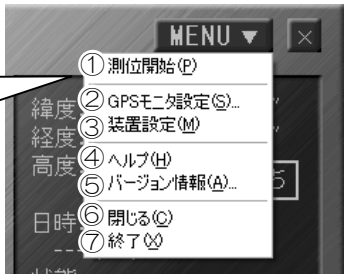

**注意！**

- **測位の途中で、測位不可能な状態になった場合、画面には最後の測位情報が表示されたままになります。**
- **数分待っても上の画面が表示されない場合は、58 ページ【現在位置が表示されないときは】をご参照ください。**
- **高度計の値は参考値です。**
- **携帯電話機から G メールで送信されてきた位置情報は、緯度・経度のみの表示となります。（高度は表示されません。）**

# GeoSeek GPSの設定

## GPSモニタメニュー

GPSモニタメニューは
GeoSeek GPSの[MENU]ボタンをクリックすると表示されます。




| メニュー | 内容 |
|---|---|
| ①測位開始/測位終了 | 測位を開始します。測位中は、「測位終了」という表示に変わり、この状態で再度選択すると測位を終了します。（56ページ【PDC-GPSの動作/停止】参照） |
| ②GPSモニタ設定 | 「GPSモニタ設定」を起動します。GPSモニタに関する各種設定ができます。（次ページ【GPSモニタ設定】参照） |
| ③装置設定 | 「装置設定」ダイアログを起動します。「装置設定」からは、PDC-GPSに関する各種設定を行うことができます。（43ページ【装置設定からPDC-GPSの設定をする】参照） |
| ④ヘルプ | ヘルプを表示します。 |
| ⑤バージョン情報 | バージョン情報を表示します。 |
| ⑥閉じる | GPSモニタを閉じます。GeoSeek GPS は、そのまま常駐し、タスクバーのGeoSeek GPS アイコンも表示されたままになります。 |
| ⑦終了 | GeoSeek GPS を終了します。 |

# GPSモニタ設定

GPSモニタの設定を行います。
GeoSeek GPSの[MENU]ボタンをクリックし、[GPSモニタ設定]をクリックすると表示されます。




| メニュー | 内容 |
|---|---|
| ①常に手前に表示する | チェックすると、GPSモニタが常に手前に表示されます。 |
| ②GPSモニタ表示時、自動的に測位開始する | チェックすると、GPSモニタを起動したとき、自動的に測位を開始します。 |
| ③速度の最大値 | GPSモニタで表示する移動中の速度の最大値を設定します。速度は、実際の速度が表示されます。初期設定は、180km/hです。設定できる範囲は、0～1000km/hです。<br>※ 設定した最大値よりも速い速度で移動した場合、GPSモニタでは速度バーが最大値で止まります。 |
| ④速度がxxxkm/h以下であれば回転しない | GPSモニタでは、測位中に移動するとそれに従って、現在の進行方位をリアルタイムにコンパスのように針を回転させて示します。<br>ただし、止まっている場合や低速で移動した場合などは、方位表示の誤差が目立ってしまいます。したがって、低速で移動する場合は方位表示を回転しないように設定しておくことをおすすめします。初期設定は、5km/hです。設定できる範囲は、0～100km/hです。 |

# 装置設定を起動する

「装置設定」では、組み込まれているUSBドライバ、メールドライバや、PDC-GPSに関する各種設定ができます。まずは、「装置設定」を起動し、「アドオン」を常駐させます。
「装置設定」は以下のいづれかの方法で起動します。

・[スタート]メニューから起動→以下参照
・ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAから起動→42ページ参照

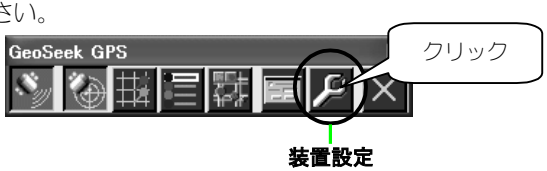
## ●[スタート]メニューから起動

**1** [スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[GeoSeek GPS]→[装置設定]をクリックします。

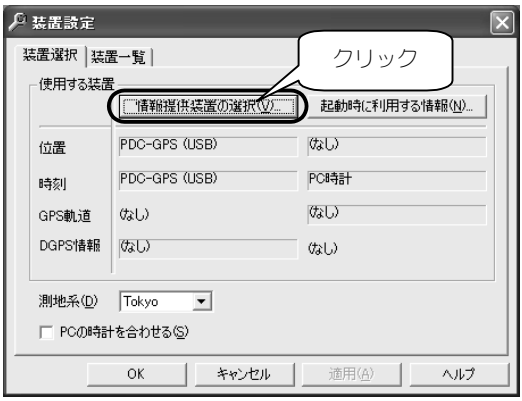



または、GeoSeek GPSを起動し、メニューウィンドウの[装置設定]ボタンをクリックします。

GeoSeek GPSの起動方法については、36ページ【GeoSeekGPSを使う】をご覧ください。




**2** [情報提供装置の選択]ボタンをクリックします。



**3** [位置]と[時刻]を[PDC-GPS（xx）]に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

1 度に 1 つの PDC-GPS のみ表示可能です。
表示したい PDC-GPS を切り替える場合は、ここで切り替えてください。




**参考**

**本製品をパソコンと USB 接続してご使用になる場合は[PDC-GPS（USB）]を選択してください。携帯電話機から G メールなどで位置情報（i ナビリンク仕様）が送られてくる場合は、[PDC-GPS（01）]～[PDC-GPS（10）]を選択してください。**
**携帯電話機のメールアドレスの登録は 44 ページ【設定 1 タブ】の[⑤PDC メールアドレス]で行います。**

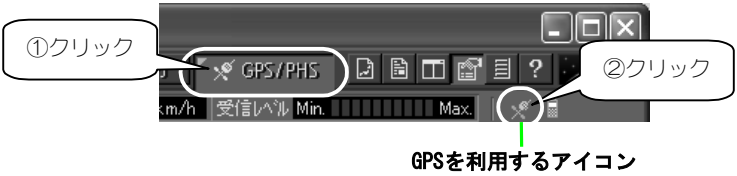
右下のタスクトレーにアドオンが常駐します。



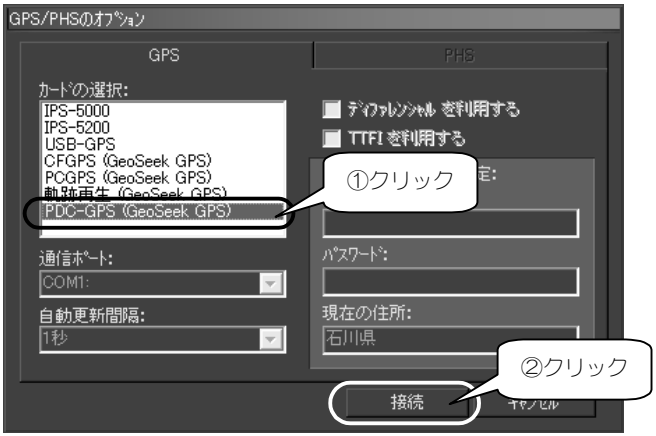
## ● ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAから起動

**1** ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA を起動します。
[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5]をクリックします。

**2** [GPS/PHS]ボタンをクリックして[GPS を利用する]アイコンをクリックします。




**3** [PDC-GPS（GeoSeek GPS)」をクリックして[接続]ボタンをクリックします。




**参考**

**[カードの選択]で[PDC-GPS(GeoSeek GPS)]の表示がない場合は、「GeoSeek GPS」がインストールされていない可能性があります。「GeoSeek GPS」をインストールしてください。(19 ページ【GeoSeek GPS のインストール】参照)**

右下のタスクトレーにアドオンが常駐します。



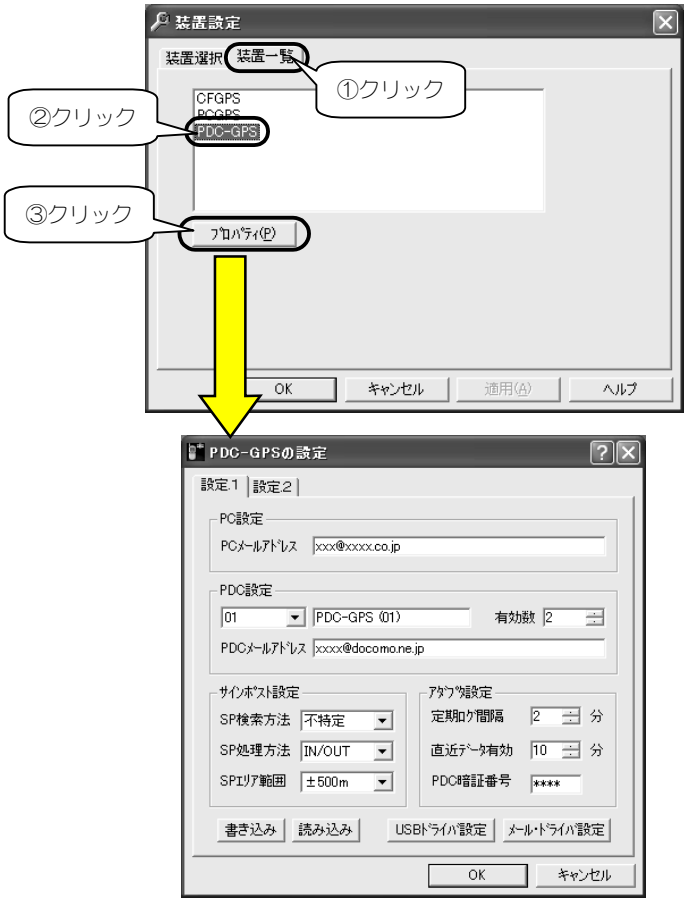
## 装置設定からPDC-GPSの設定をする

**1** [装置設定]を起動します。

40 ページ【[スタート]メニューから起動】の手順 1 をご覧ください。

**2** [装置一覧]タブで[PDC-GPS]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

PDC-GPS の設定に関する画面が表示されます。




PDC-GPS の設定に関する各画面の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

## 設定１タブ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定1]タブをクリックすると表示されます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①PCメール<br>アドレス | 携帯電話機からGメールを送る場合の送り先のアドレスを入力します。（相手がセンタ（パソコン）の場合はセンタのアドレス、相手がお友達の場合はお友達の携帯電話機のアドレスなどとなります。） |
| ②PDCリスト | 任意の番号をリスト内から選択し、各携帯電話機のデータを入力します。 |
| ③PDC登録名 | 携帯電話機ごとに名前をつけます。[②PDCリスト]で番号を選択後、任意の名前を入力します。 |
| ④有効数 | パソコンで対応する携帯電話機の数（有効数）を最大10台まで指定できます。 |
| ⑤PDCメール<br>アドレス | 携帯電話機からパソコンへ、測位データを送信する場合は、携帯電話機のメールアドレスを入力します。 |
| ⑥SP検索方法 | サインポストの検索方法を設定します。<br>不特定　:登録されているサインポストを全て検索します。<br>順序固定:登録されているサインポストを1番から順に検索します（サインポスト1番、2番が登録されている場合、1番に進入する前に2番に進入したとしても、無視します）。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ⑦SP処理方法 | サインポストの処理方法を設定します。<br>未使用:サインポスト機能を使用しない。<br>IN　　:サインポストに進入した場合のみ処理。<br>OUT　:サインポストから出た場合のみ処理<br>IN/OUT:サインポストに進入した場合と出た場合に処理。 |
| ⑧SPエリア範囲 | サインポストの範囲を設定します。<br>100m:サインポストの中心から±100mの矩形エリアに指定<br>300m:サインポストの中心から±300mの矩形エリアに指定<br>500m:サインポストの中心から±500mの矩形エリアに指定<br>1km :サインポストの中心から±1kmの矩形エリアに指定 |
| ⑨定期ログ間隔 | 定期測位時に、測位する時間間隔を設定します。<br>測位情報は本製品のメモリ内に保存します。<br>最大1000件保存できます。 |
| ⑩直近データ有効 | GPS衛星が捕捉できなかった場合に、ここで設定した時間をさかのぼった中で、最後に正常捕捉した測位データを現在の測位データとして使用します。<br>0に設定した場合は無効になります。 |
| ⑪PDC暗証番号 | 携帯電話機の暗証番号を入力します。<br>※ ここで入力する暗証番号は、iモードの暗証番号ではありません。携帯電話機のメニュー内のセキュリティなどで使う暗証番号です。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。<br>※ 暗証番号が間違っている場合、本製品を携帯電話機に接続しても、本製品は携帯電話機を認識できません。 |
| ⑫書き込み | 本製品に各設定値を保存します。<br>※ 本製品の電源がオンの状態でパソコンとUSB接続されている必要があります。 |
| ⑬読み込み | 本製品内の設定値をパソコンに読み込みます。<br>※ 本製品の電源がオンの状態でパソコンとUSB接続されている必要があります。 |
| ⑭USBドライバ設定 | 「USBドライバの設定」ダイアログを表示します。<br>（次ページ【USBドライバの設定ダイアログ】参照） |
| ⑮メール・ドライバ設定 | 「メール･ドライバ設定」ダイアログを表示します。<br>（50ページ【メール・ドライバ設定ダイアログ】参照） |

## ● USB ドライバの設定ダイアログ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定1]タブ→[USBドライバ設定]ボタンをクリックすると表示されます。

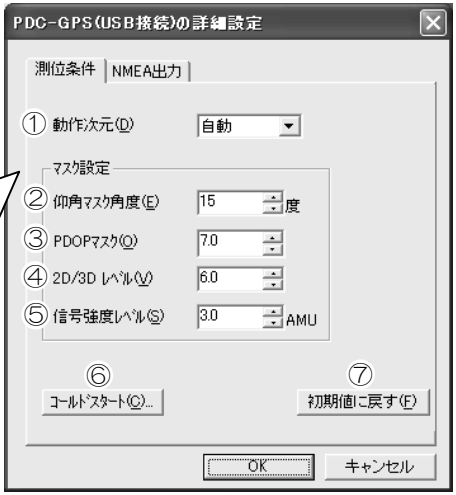



| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①COM ポート | USBポートを自動選択します。通常は[自動選択]を選択してください。自動選択できない場合は、手動で選択してください。<br>※ 本製品の電源がオンの状態でパソコンとUSB接続されている必要があります。 |
| ②位置更新間隔 | 本製品が外部に測位データを出力する間隔を秒単位で設定します。 |
| ③詳細設定 | USBドライバに関する詳細設定を行います。<br>次ページ【測位条件タブ】および49ページ【NMEA出力タブ】をご覧ください。 |
| ④アダプタ<br>初期化 | 本製品を出荷時の設定に戻します。 |
| ⑤初期値に戻す | 変更された値を初期値に戻します。 |

### ▼ 測位条件タブ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定1]タブ→[USBドライバ設定]ボタン→[詳細設定]ボタン→[測位条件]タブをクリックすると表示されます。

※ 通常はこのタブの設定を変更しないでください。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①動作次元 | 自動/2D/3Dの中から選択できます。<br>2Dでは緯度・経度のみを測位します。<br>3Dでは緯度・経度・高度を測位します。<br>通常は[自動]で使用します。 |
| ②仰角マスク角度 | 仰角マスク角度を設定します。仰角が指定した角度以下の衛星は測位計算に使用しません。障害物がある所では、この値を変更することにより測位誤差の原因の一つである反射波を取り除くことができます。 |
| ③PDOPマスク | PDOPマスクを設定します。PDOPは測位計算に使用するGPS衛星の配置によって決まる位置の誤差の大きさを示す尺度です。この値が大きいほど位置の誤差は大きくなります。PDOPが指定した値以上の時は、測位計算を行いません。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ④2D/3D レベル | 2D/3Dスイッチレベルを設定します。GPS衛星を4つ以上捕捉している場合、緯度・経度・高度を計算することができますが、PDOPが指定した値以上になるときは、緯度・経度のみを計算します。これにより高度は計算されなくなりますが、緯度・経度の測位精度は上がります。なお[①動作次元]の設定が自動でない場合、この値は無効です。 |
| ⑤信号強度レベル | 信号強度レベルを設定します。各GPS衛星からの信号強度が、指定した値以下の場合はその衛星からの信号を無視します。 |
| ⑥コールドスタート | 現在位置・現在時刻・軌道情報をクリアし、測位計算を初めからやり直します。通常、使用する必要はありませんが、前回の測位地点から大きく離れた地点にいて、衛星配置がかけ離れてしまった場合に使用すると有効な場合があります。 |
| ⑦初期値に戻す | 変更された値を初期値に戻します。 |



**参考**

**都心部など、ビルの多い場所で使用した場合、数分たっても測位できないことがあります。そのような場合は、[②仰角マスク角度]～[⑤信号強度レベル]を変更すると、測位状態が改善できます。**
**ただし、測位状態がよくなると、誤差が増える場合があります。**

**変更例）以下の値に変更することで測位状態が良くなります。**

**②仰角マスク角度:5**
**③PDOP マスク:12.0**
**④2D/3D レベル:5.0**
**⑤信号強度レベル:2.0**

### ▼ NMEA出力タブ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定1]タブ→[USBドライバ設定]ボタン→[詳細設定]ボタン→[NMEA出力]タブをクリックすると表示されます。

※ 通常はこのタブの設定を変更しないでください。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ① | GPS測位データのパケットを出力します。 |
| ② | 位置（緯度・経度）のパケットを出力します。 |
| ③ | GPSのDOPと測位に使用した衛星のパケットを出力します。 |
| ④ | 受信可能な衛星のパケットを出力します。 |
| ⑤ | 時刻、位置、速度、方位のパケットを出力します。 |
| ⑥ | 速度、方位のパケットを出力します。 |
| ⑦ | 時刻、日付のパケットを出力します。 |
| ⑧ | EPSON ASCII Format出力対応アプリケーションをご使用の際は、チェックしてください。対応アプリケーション以外ではチェックする必要はありません。 |
| ⑨ | 測地系の設定を行います。<br>Tokyo測地系 ：日本で標準的に使用されている測地系です。<br>WGS-84測地系：世界的に標準で使用されている測地系です。<br>本製品を地図ソフトと組み合わせて使用する場合は、地図ソフトの設定と合わせてください。本製品と地図ソフトの測地系が違う場合、サインポストやGPS測位位置が数100メートルずれます。 |
| ⑩ | 変更された値を初期値に戻します。 |

## ● メール・ドライバ設定ダイアログ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定1]タブ→[メール・ドライバ設定]ボタンをクリックすると表示されます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①送信（SMTP） | SMTPを設定します。 |
| ②受信（POP3） | POP3を設定します。 |
| ③ユーザー名 | ユーザー名を設定します。 |
| ④パスワード | POP認証パスワードを設定します。 |
| ⑤パスワードを保存する | POP認証パスワードを保存しておきます。<br>安全の為、パスワードを毎回入れたい場合は、チェックを外します。 |
| ⑥メール確認間隔 | サーバーにメールを確認する間隔です。サーバーから送られてくるメールに時間がかかる場合は、長めにする必要があります。ただし長くした場合は、地図表示などでの更新間隔が長くなります。<br>設定できる範囲は1～30分です。<br>※ ダイアルアップ環境の場合は、ムダな受信料を使わないために、Windowsで[切断するまでの待ち時間]を設定することをおすすめします。 |
| ⑦処理後のメールをサーバーから削除する | チェックするとメールを処理後、そのメールをサーバーから削除します。 |

※ [①送信（SMTP）]～[④パスワード]の設定内容が不明な場合は、ご契約のプロバイダへご確認ください。

## 設定２タブ

[装置設定]→[装置一覧]タブ→[プロパティ]ボタン→[設定2]タブをクリックすると表示されます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①消去（マクロのクリアー） | WEBリンクのマクロを消去します。 |
| ②iMapion | サイバーマップ・ジャパン社製地図サイトへ接続するマクロを設定します。 |
| ③ゼンリン携帯マップ | ゼンリン社製地図サイトへ接続するマクロを設定します。 |
| ④iMapFan | インクリメントP社と三井物産社が共同で運営する地図サイトへ接続するマクロを設定します。 |
| ⑤WEBリンクのマクロ | WEBリンクのマクロを入力します。<br>書式については【WEBリンクマクロ書式】（53ページ）をご覧ください。 |
| ⑥マクロ展開後の予想文字数 | WEBリンクのマクロが展開された後の文字数を予想します。<br>※ WEB（URL）の入力最大文字数は、ご使用の携帯電話機により異なります。ほとんどの機種が256文字ですが、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ⑦消去（マクロのクリアー） | Gメールのマクロを消去します。 |
| ⑧iナビリンクのみ送る | Gメール本文がiナビリンクのみになります。 |
| ⑨iナビリンクと時間を送る | Gメール本文がiナビリンクと時間になります。 |
| ⑩デフォルト（iナビリンク・WEBリンク） | Gメール本文が初期状態（iナビリンクとWEBリンク）になります。 |
| ⑪WEBリンクのみ送る | Gメール本文がWEBリンクのみになります。 |
| ⑫全データを送る | Gメール本文が全データになります。 |
| ⑬Gメールのマクロ | Gメールのマクロを入力します。<br>書式については【Gメールマクロ書式】（54ページ）をご覧ください。 |
| ⑭OK | 設定値をレジストリに保存してダイアログを閉じます。 |
| ⑮キャンセル | 設定値を保存せずにダイアログを閉じます。 |



**参考**

**マクロとは、緯度・経度・高度といった情報を任意に書き込める文字列です。53、54 ページでマクロ文字の例をあげています。**

## WEBリンクマクロ書式

WEBリンクマクロとは、以下のマクロ文字で記述される文字列のことです。
以下の例にて説明します。

例）　北緯35度39分58.03秒
　　東経139度45分39.09秒

| 機能 | マクロ文字 | 展開文字数 | 展開例 |
|---|---|---|---|
| 緯度(時) | %NH | 2バイト | 35 |
| 緯度(分) | %NM | 2バイト | 39 |
| 緯度(秒) | %NS | 2バイト | 58 |
| 緯度(少数1桁) | %1ND | 1バイト | 0 |
| 緯度(少数2桁) | %2ND | 2バイト | 03 |
| 緯度(少数3桁) | %3ND | 3バイト | 030 |
| 緯度(度少数6桁) | %6NR | 9バイト | 35.666125 |
| 経度(時) | %EH | 3バイト | 139 |
| 経度(分) | %EM | 2バイト | 45 |
| 経度(秒) | %ES | 2バイト | 39 |
| 経度(少数1桁) | %1ED | 1バイト | 0 |
| 経度(少数2桁) | %2ED | 2バイト | 09 |
| 経度(少数3桁) | %3ED | 3バイト | 090 |
| 経度(度少数6桁) | %6ER | 9バイト | 139.760875 |
| カンマ | %CMA | 1バイト | , |

## Gメールマクロ書式

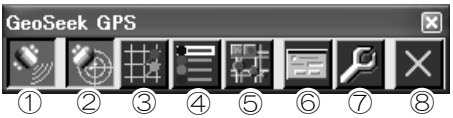
Gメールマクロとは、以下のマクロ文字で記述される文字列のことです。
以下の例にて説明します。

例） 北緯35度39分58.03秒
東経139度45分39.09秒
2002年07月25日
23時05分57秒

| 機能 | マクロ文字 | 展開文字数 | 展開例 |
|---|---|---|---|
| ｉﾅﾋﾞﾘﾝｸ | %INL | 36バイト | <<tokyo,N35.39.58.03,E139.45.39.09>> |
| 緯度 | %LAT | 12バイト | N35.39.58.03 |
| 経度 | %LON | 13バイト | E139.45.39.09 |
| 高度 | %ALT | 4バイト | -999～9999 [m] |
| 測地系 | %CDN | 5バイト | tokyo か wgs84 |
| 速度 | %SPD | 3バイト | 000～999 [km/h] |
| 方向 | %DEG | 3バイト | 000～359 [度] |
| 測位時刻(UTC) | %FTG | 25バイト | 2002/07/25 14:05:57+09:00 |
| 逆ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ | %RTZ | 6バイト | -09:00 |
| 測位時刻(地域) | %FTL | 19バイト | 2002/07/25 23:05:57 |
| 測位時刻(地域:年) | %YER | 4バイト | 2002 |
| 測位時刻(地域:月) | %MON | 2バイト | 07 |
| 測位時刻(地域:日) | %DAY | 2バイト | 25 |
| 測位時刻(地域:時) | %HOR | 2バイト | 23 |
| 測位時刻(地域:分) | %MIN | 2バイト | 05 |
| 測位時刻(地域:秒) | %SEC | 2バイト | 57 |
| 受信衛星番号 | %SAT | 16バイト | 2桁の衛星番号×8個 (未測位は 00) |
| WEBﾘﾝｸ | %URL | 最大128バイト | WEBﾘﾝｸのﾏｸﾛ展開 |
| ｶﾝﾏ | %CMA | 1バイト | , |
| 改行 | %CR | 2バイト | <CR><LF> |

# メニューウィンドウ

メニューウィンドウは、GeoSeek GPSを起動するとGPSモニタと共に表示されます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①測位開始ボタン | 測位を開始します。測位中はボタンがクリックされたままの状態になります。再度クリックすると測位を終了します。 |
| ②GPSモニタを開くボタン | 「GPSモニタ」を表示します。「GPSモニタ」を表示中にはボタンがクリックされたままの状態になり、再度クリックするとGPSモニタを閉じます。（37ページ参照） |
| ③位置プロットを開くボタン | 位置プロットを表示します。位置プロットを表示中にはボタンがクリックされたままの状態になります。再度クリックすると位置プロットを閉じます。（59ページ【特定の場所への距離や方向を知るには】参照） |
| ④GPSアプリケーション起動を開くボタン | 「GPSアプリケーション起動」を表示します。「GPSアプリケーション起動」を表示中にはボタンがクリックされたままの状態になり、再度クリックすると、GPSアプリケーション起動を閉じます。（62ページ【GPSアプリケーション起動を開く】参照） |
| ⑤軌跡コントローラⅡを開くボタン | 「軌跡コントローラⅡ」を起動します。（65ページ【軌跡コントローラⅡを開く】参照） |
| ⑥共通設定ボタン | 「共通設定」画面を起動します。（69ページ【共通設定】参照） |
| ⑦装置設定ボタン | 「装置設定」画面を起動します。（43ページ【装置設定からPDC-GPSの設定をする】参照） |
| ⑧終了ボタン | GeoSeek GPSを終了します。 |

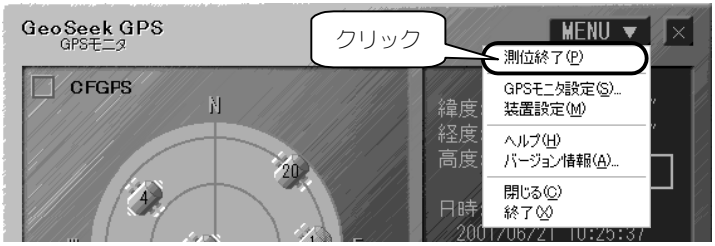
## PDC-GPSの動作/停止

ここでは、下記動作について説明します。

・PDC-GPS の動作を停止させる方法
・停止中の PDC-GPS を動作させる方法
・起動と同時に PDC-GPS を動作させる方法

### ● PDC-GPS の動作を停止させる

[MENU]→[測位終了]をクリックします。




「GPS は停止中です、測位開始を選択してください。」と表示されます。

### ● PDC-GPS を動作させる

[MENU]→[測位開始]をクリックします。




### ● 起動と同時に PDC-GPS を動作させる

[MENU]→[GPS モニタ設定]→[GPS モニタ表示時、自動的に測位開始する]をチェックします。

## 動作に異常がある場合は初期化

はじめて本製品をご使用になる場合や、ご使用中に異常があるような場合は、初期化を行ってください。

**1** [装置設定]を起動します。

40 ページ【装置設定を起動する】の手順**2**までをご覧ください。

**2** [装置一覧]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

**3** [設定 1]タブをクリックし、[USB ドライバ設定]ボタンをクリックします。

[PDC-GPS（USB 接続）の設定]が表示されます。

**4** [COM ポート]が[自動選択]になっていることを確認します。

[自動選択]から変更する必要はありません。

**5** [アダプタ初期化]ボタンをクリックします。

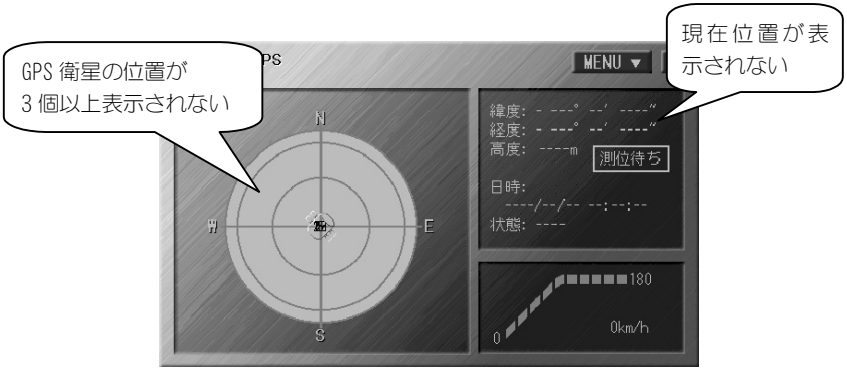



以上で初期化完了です。

初期化を行っても現在位置が表示されない場合は、次ページをご覧ください。

## 現在位置が表示されないときは

・GeoSeek GPS を起動してしばらくしても、3 個以上の GPS 衛星からの電波が受信できないときは現在位置を表示できません。




・G メールによる位置情報の場合は表示されません。
・状況によっては 3D 測位（緯度・経度・高度を測定）ができない場合があります。このときは自動的に 2D 測位（緯度・経度のみ）になります。

**参考**

**どれだけ待っても表示されない場合は、前ページ【動作に異常がある場合は初期化】を行ってください。**

## 特定の場所への距離や方向を知るには

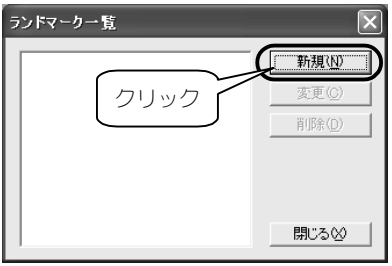
GeoSeek GPS にはランドマーク機能といって、指定した場所と現在位置とのおおよその距離や、その場所への方向を「位置プロット」上に表示する機能があります。ここではランドマーク機能の使い方を説明します。この設定は起動するたびに行ってください。

### 1 メニューウィンドウの[位置プロットを開く]ボタンをクリックします。

メニューウィンドウは、GeoSeek GPS を起動すると同時に表示されます。（36 ページ【GeoSeek GPS を使う】参照）

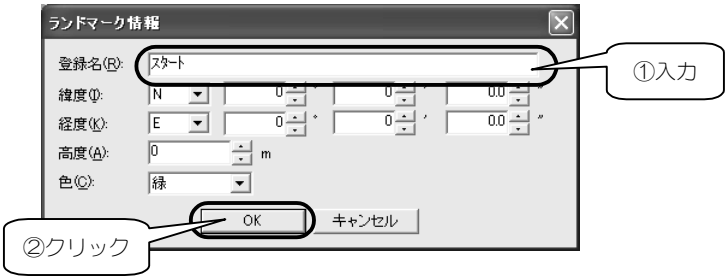



### 2 [位置プロット]の[MENU]→[ランドマーク一覧]→[新規]ボタンをクリックします。

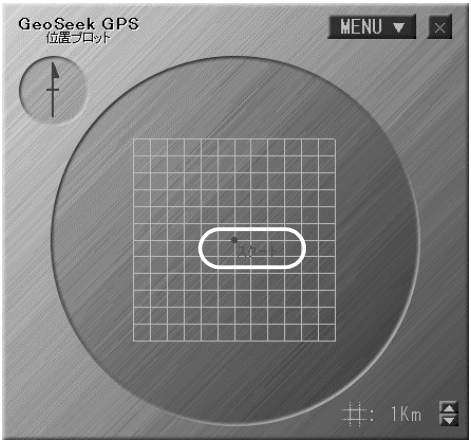



### 3 [登録名]に現在地の名称（任意）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

[緯度]、[経度]、[高度]には現在のものが表示されます。
[色]では、位置プロットのグリッド上に表示される印の色が指定できます。

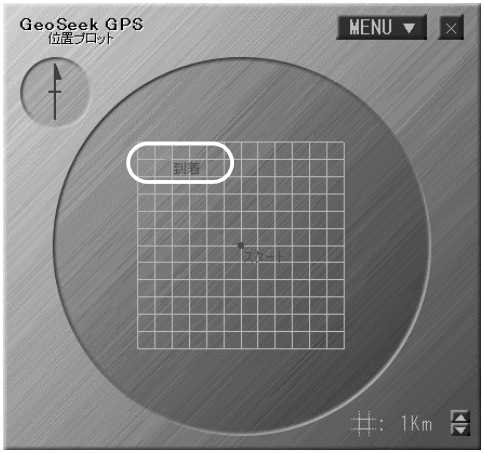


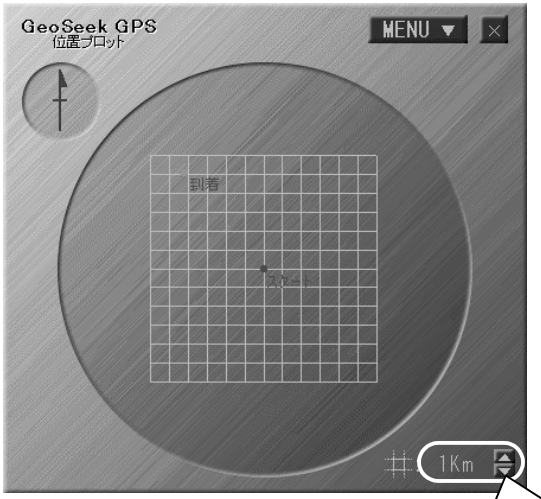
**4** [GeoSeek GPS]のグリッド上に現在地の印が表示されますので、そのまま目的地まで移動します。




**5** 目的地に到着したところで、再度手順 **2** ～ **3** を行います。

図は手順 **3** で[登録名]に「到着」と入力した場合の例です。



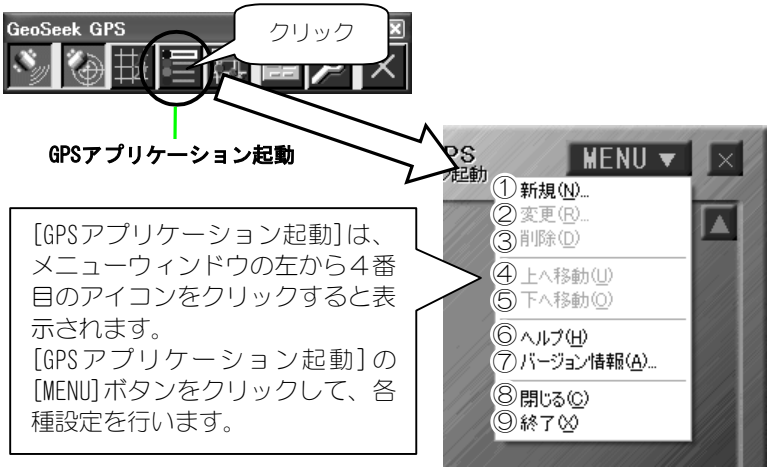



グリッドの１マスあたりの距離が設定できます。
この画面の場合、1 マスが 1㎞ 四方であることを表しています。

GeoSeek GPS の詳しい使い方は[ヘルプ]メニューをご参照ください。
GeoSeek GPS は PDC-GPS の信号受信確認としても使用できます。

## GPSアプリケーション起動を開く

地図ソフトなどのアプリケーションを、[GPSアプリケーション起動]に登録しておけば、ダブルクリックで起動することができます。
登録したアプリケーションには、あらかじめ本製品の測地系やNMEAを設定しておくことができます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①新規 | アプリケーションを新規登録します。ファイル選択画面が表示されますので、アプリケーションの実行ファイルを選択します。アプリケーション情報は、初期設定の値が設定されます。 |
| ②変更 | アプリケーション情報画面（次ページ参照）が表示され、登録済みのアプリケーション情報を変更できます。 |
| ③削除 | 登録済みのアプリケーションを削除します。 |
| ④上へ移動 | 登録済みのアプリケーションの表示順を変更します。 |
| ⑤下へ移動 | |
| ⑥ヘルプ | ヘルプを表示します。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ⑦バージョン情報 | バージョン情報を表示します。 |
| ⑧閉じる | GPSアプリケーション起動を閉じます。<br>GeoSeek GPS は、そのまま常駐し、タスクバーのGeoSeek GPSアイコンも表示されたままになります。 |
| ⑨終了 | GeoSeek GPS を終了します。 |

## ● アプリケーション情報画面




[アプリケーション情報]は、[GPSアプリケーション起動]の[MENU]→[変更]をクリックすると表示されます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①登録名 | GPSアプリケーション起動に表示されるアプリケーション名を入力します。新規登録時は指定したファイルの名称が設定されます。 |
| ②リンク先 | アプリケーションの起動ファイルを表示します。変更する場合は、右側の［参照］ボタンをクリックします。 |

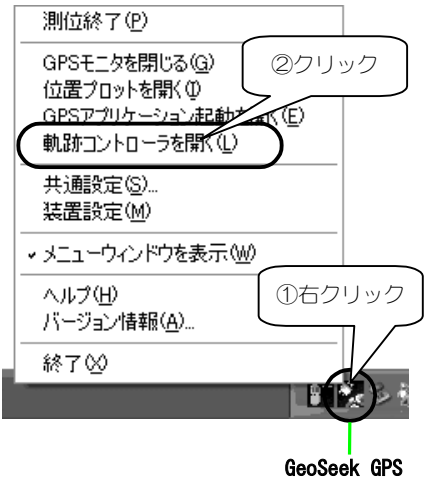
| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ③測地系 | アプリケーションで使用する測地データの測地系を選択します。「Tokyo」または「WGS-84」のどちらかを選択できます。<br>新規登録時は多くのアプリケーションが動作する標準値が設定されます。通常は標準値をご使用ください。アプリケーションで使用する測地系については、アプリケーションの取扱説明書等を参照してください。 |
| ④NMEA 出力パケット | 測地データの出力種別を選択します。新規登録時は多くのアプリケーションが動作する標準値が設定されます。NMEAに対応したアプリケーションでは、標準値をご使用ください。アプリケーションで使用するNMEAパケットについては、アプリケーションの取扱説明書等を参照してください。<br>GGA ……GPS測位データ<br>GLL ……位置（緯度・経度）<br>GSA ……GPSのDOPと測位に使用した衛星<br>GSV ……受信可能な衛星<br>RMC ……時刻、位置、速度、方位<br>VTG ……速度、方位<br>ZDA ……時刻、日付<br>出力間隔…NMEAパケット出力間隔を設定します。<br>設定できる範囲は、1～60秒です。 |
| ⑤初期値に戻す | 測地系、NMEA出力パケットの設定を初期値に戻します。 |
| ⑥GPS 設定を変更しない | このチェックボックスがチェックされている場合は、アプリケーションの実行時に、GPSカードの設定値を変更しません。 |

## 軌跡コントローラⅡを開く

タスクトレーの GeoSeek GPS アイコンを右クリックして表示されたメニューの[軌跡コントローラを開く]をクリックします。

軌跡コントローラⅡでは、PDC-GPS 内の位置情報（ログ）を地図ソフト上で再生したり、位置情報をパソコン内に保存することができます。再生モード時と保存モード時で画面が異なります。

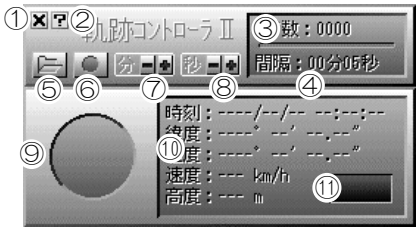
・保存モード→以下参照
・再生モード→67 ページ参照




### ● 軌跡コントローラⅡ（保存モード時）

PDC-GPS 内の位置情報（ログ）をパソコンに保存します。
※ 必ず本製品をパソコンと USB 接続してください。

▼ 軌跡コントローラⅡ（普通サイズ）




▼軌跡コントローラⅡ（縮小サイズ）




※ ボタン以外の部分でダブルクリックすると「普通サイズ」と「縮小サイズ」の切替ができます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①軌跡コントローラⅡの終了 | 「軌跡コントローラⅡ」を終了します。<br>※ あらかじめログの保存を停止してください。 |
| ②ヘルプ表示 | ヘルプを表示します。 |
| ③ログ数表示 | 現在保存しているログ数を表示します。<br>※ ログ数は、1つのファイルに9000個まで保存できます。9000個を超えると無視されます。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ④保存間隔 | ログの保存間隔を表示します。 |
| ⑤ログファイルの選択 | 保存するログファイルを選択します。 |
| ⑥測位データの保存/停止 | 測位データをログファイルとして保存、および保存を停止します。<br>※ 情報提供装置（41ページ）で[PDC-GPS（USB）]が選択されていないと、使用できません。 |
| ⑦保存間隔（分）の変更 | 測位データを保存する間隔を分単位で指定します。<br>※ 保存間隔が、アダプタの位置変更間隔よりも短い場合は、測位データが更新されるまで、同じ測位データが保存されます。 |
| ⑧保存間隔（秒）の変更 | 測位データを保存する間隔を秒分単位で指定します。<br>※ 保存間隔が、アダプタの位置変更間隔よりも短い場合は、測位データが更新されるまで、同じ測位データが保存されます。 |
| ⑨捕捉衛星数と方位 | 測位しているGPSデータの捕捉衛星数（灰色は未測位、緑が測位衛星）と方位（GPSアダプタの進行方向、角度は45°単位）を表示します。 |
| ⑩GPS測位情報 | 測位しているGPSデータの情報を表示します。 |
| ⑪測位モード | 測位しているGPSデータの測位モードを表示します。<br>未測位:衛星が必要数、捕捉できていない。<br>2D　:二次元測位中（高度は不明）<br>3D　:三次元測位中 |



**参考**

**軌跡コントローラⅡのダイアログ上で右クリックすると、メニューが表示され、各種設定を行うことができます。68ページ【軌跡コントローラⅡのメニュー】をご覧ください。**

## ● 軌跡コントローラⅡ（再生モード時）

▼ 軌跡コントローラⅡ（普通サイズ）




▼軌跡コントローラⅡ（縮小サイズ）

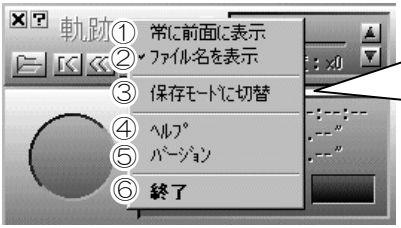



※ ボタン以外の部分でダブルクリックすると「普通サイズ」と「縮小サイズ」の切替ができます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①軌跡コントローラⅡの終了 | 「軌跡コントローラⅡ」を終了します。<br>※ あらかじめログの再生を停止してください。 |
| ②ヘルプ表示 | ヘルプを表示します。 |
| ③ログ数表示 | 全ログ数と現在のログを表示します。 |
| ④再生速度 | 再生速度を表示します。範囲は0～10秒です。0の場合は連続再生しません。 |
| ⑤再生速度のUP/DOWN | 再生速度を変更します。範囲は0～10秒です。0の場合は連続再生しません。 |
| ⑥ログファイルの選択 | 軌跡再生するログファイルを選択します。 |
| ⑦最初のログへ飛ぶ | １番最初のログデータに飛びます。 |
| ⑧１つ前のログへ飛ぶ | １つ前のログデータに飛びます。 |
| ⑨ログの再生/停止 | 再生速度に合わせて、ログを連続再生/停止します。再生速度が0の場合は、選択されているログのみ再生します。 |
| ⑩１つ後のログへ飛ぶ | １つ後のログデータに飛びます。 |
| ⑪最後のログへ飛ぶ | １番最後のログデータに飛びます。 |
| ⑫捕捉衛星数と方位 | 選択しているログデータの捕捉衛星数（灰色は未測位、緑は測位衛星）と方位（GPSアダプタの進行方向、角度は45°単位）を表示します。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ⑬ログ情報 | 選択しているログデータの情報を表示します。 |
| ⑭測位モード | 選択しているログデータの測位モードを表示します。<br>未測位:衛星が必要数、捕捉できていない。<br>2D　:二次元測位中（高度は不明）<br>3D　:三次元測位中 |

▼ 軌跡コントローラⅡのメニュー

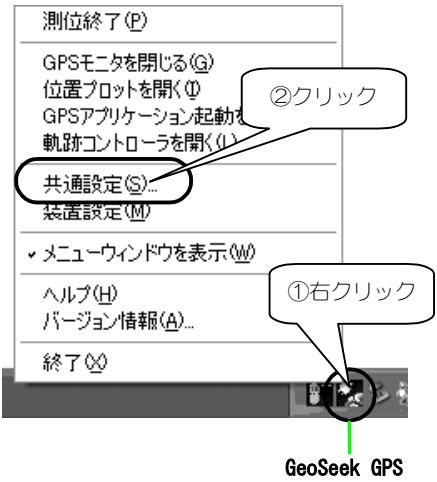


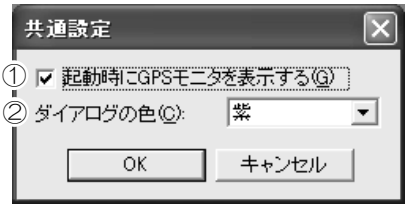

軌跡コントローラⅡのダイアログ上で右クリックすると表示されます（縮小サイズのときでも同様に可能です）。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①常に前面に表示 | チェックすると、常に「軌跡コントローラⅡ」を前面に表示します。 |
| ②ファイル名を表示 | チェックすると、タイトル部分にログファイル名がスクロール表示されます。 |
| ③再生モード/保存モードに切り替え | 選択するたびに、再生モードと保存モードを切り替えます。 |
| ④ヘルプ | ヘルプを表示します。 |
| ⑤バージョン | バージョンを表示します。 |
| ⑥終了 | 「軌跡コントローラⅡ」を終了します。 |

## 共通設定

タスクトレーのGeoSeek GPSアイコンを右クリックして表示されたメニューの[共通設定]をクリックします。
起動時の設定とダイアログの色が設定できます。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①起動時にGPSモニタを表示する | チェックすると、GeoSeek GPS の起動時にGPSモニタを表示します。 |
| ②ダイアログの色 | 「GPSモニタ」、「位置プロット」、「GPSアプリケーション起動」の表示色を設定します。赤、青、紫、緑、黄、灰色のいずれかから選択できます。 |

# ログの読み出し

本製品内の位置情報（ログ）をパソコンに読み出したり、それを地図ソフト上で再生することができます。

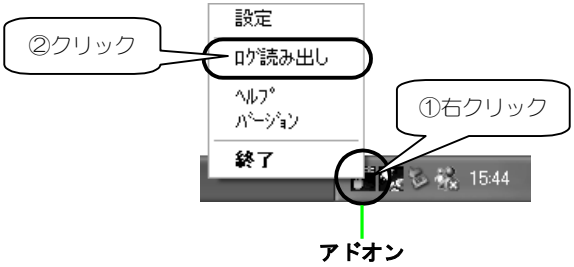
## ログの保存

本製品内部のメモリのログをパソコンに保存します。

**※ 本製品をパソコンに接続した状態で作業してください。**

**1** タスクトレーのアドオンアイコンをクリックし、[ログ読み出し]をクリックします。

[ログ読み出し]ダイアログが表示されます。




**2** [ログ数確認]ボタンをクリックします。




**3** [ログ読み出し（ログ消去）]もしくは[ログ読み出し（ログ残す）]ボタンをクリックします。

[ログ読み出し]ダイアログの詳細については次ページをご覧ください。

[ログ読み出し（ログ消去）]：ログを読み出した後、本製品内部のログを消去します。

[ログ読み出し（ログ残す）]：ログを読み出しますが、本製品内部のログは消去しません。

▼ ログ読み出しダイアログ




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ①ログ数確認 | 本製品内部のメモリに保存されているログの数を確認し、全ログ数を表示します。<br>※ 本製品の電源がオンの状態でパソコンとUSB接続されている必要があります。 |
| ②メッセージウィンドウ | 次に実行する動作や、現在実行中の動作を表示します。 |
| ③保存ファイル名 | ログを書き出すファイル名です。 |
| ④ファイル名選択 | ログを書き出すファイル名を選択します。 |
| ⑤ログ読み出し（ログ消去） | 本製品からログを読み出し、ファイルに書き込みます。その後本製品内のログを消去します。 |
| ⑥ログ読み出し（ログ残す） | 本製品からログを読み出し、ファイルに書き込みます。本製品内のログは消去しません。 |
| ⑦キャンセル | このダイアログを閉じます。 |



**参考**

**●自動で保存されるログについて**

**アドオンがタスクトレーに常駐している状態ならば、測位情報ログは自動的に保存されます。保存する間隔は、USB接続の場合もメールで送られてくる場合も、GPS測位データが更新される間隔です。**

**自動的にログが保存されるフォルダとファイル名は以下の通りです。**

**・フォルダ**

**「My documents」の下に「PDC-GPS」を作成し、その下にアダプタの番号「000」～「010」を作成します。**

**・ファイル名**

**ファイル名は、「年月日.pgl」となります。**

**（2002年10月18日なら「20021018.pgl」となります。）**

## ログの再生

地図上でログを再生します。測位した位置を地図上で確認することができます。あらかじめパソコン内にログを保存しておいてください。(【ログの保存】70 ページ参照)

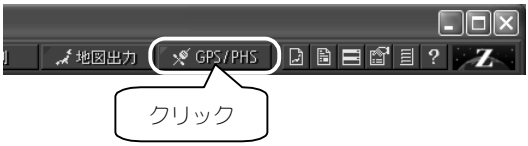
**1** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA を起動します。**

[スタート]→[すべてのプログラム](または[プログラム])→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5] をクリックします。

※ 詳細地図データをインストール済み(21 ページ【注意】参照)の場合は CD-ROM をセットする必要はありません。




**2** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA の画面が表示されたら、[GPS/PHS]ボタンをクリックします。**




**3** **[GPS を利用する]アイコンをクリックします。**



**4** **[カードの選択]で[軌跡再生(GeoSeek GPS)]をクリックし、[接続]ボタンをクリックします。**

[軌跡コントローラⅡ]が表示されます。




[軌跡コントローラⅡ]では、ログを様々な方法で再生することができます。詳しくは、【軌跡コントローラⅡを開く】65 ページをご覧ください。

# ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAを使う

ここでは本製品添付の「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」を使って、現在位置を地図上に表示する方法やルート検索方法を説明します。

## PDC-GPSの現在位置を地図上で表示する

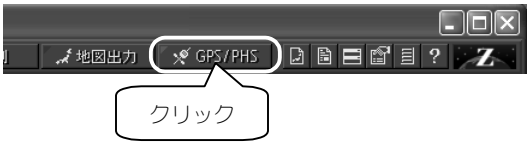
**1** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAを起動します。**

[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5] をクリックします。

※ 詳細地図データをインストール済み（21ページ【注意】参照）の場合はCD-ROMをセットする必要はありません。




**2** **ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAの画面が表示されたら、[GPS/PHS]ボタンをクリックします。**



**3** [GPS を利用する]アイコンをクリックします。




**4** [カードの選択]で本製品名[PDC-GPS(GeoSeek GPS)]をクリックし、[接続]ボタンをクリックします。




**参考**

[カードの選択]で[PDC-GPS(GeoSeek GPS)]の表示がない場合は、「GeoSeek GPS」のインストールがされていない可能性があります。「GeoSeek GPS」をインストールしてください。(19 ページ【GeoSeek GPS のインストール】参照)

**5** しばらくして測位できたら、自動的に現在位置の地図になり、現在位置のマークが表示されます。

最初の測位では、ウォームアップ動作をしますので、正確な測位には数分かかる場合があります。しばらくお待ちください。




**注意！**

**GPS 衛星自体の測定誤差があるので、現在位置マークは、実際の位置とずれる場合があります。**

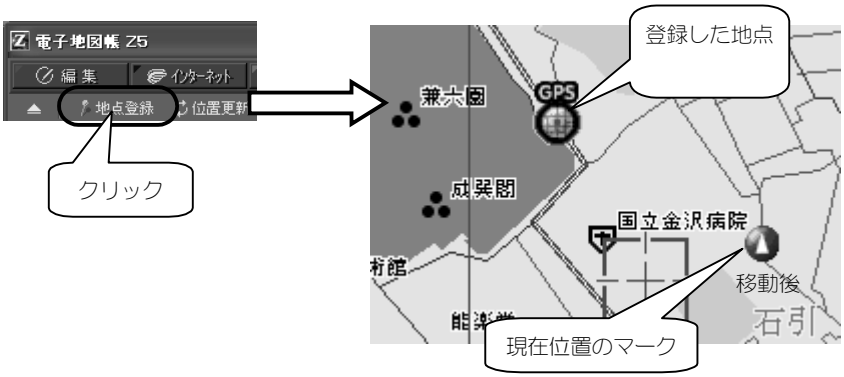
**参考**

移動すると、それに合わせて「現在位置のマーク」が、地図上を移動しますが、右の[GPS]ウィンドウの製品名（[PDC-GPS(USB)]など）をクリックした状態（押し下げた状態）にすると、常に「現在位置のマーク」を中心として地図がスクロールします。



## 6 [地点登録]をクリックすると、現在地が登録できます。

[位置更新]をクリックすると現在位置を再測位します（特に[位置更新]をクリックしなくても更新間隔に合わせて自動測位します）。




## 7 GPS 受信を終了したいときは、もう一度、[GPS/PHS]ボタンをクリックします。

ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA 自体を終了したいときは、ウィンドウ右上の[×]をクリックしてください。

移動すると移動速度も表示されます。ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA ではレストランなどを検索したり、電話番号で所在地を検索する機能もあります。使い方は添付のオンラインマニュアルをご参照ください。

## ルート検索するには

ここでは、目的地へのルートを表示する機能（ルート探索機能）について説明します。地図ウィンドウ上で、スタート点とゴール点を指定するだけで、自動的にルートを検索し、目的地までのルートを描画します。

**注意！**

**リアルタイムでの自動検索（リルート検索）には、対応しておりません。**

### 1 [ルート探索]ボタンをクリックします。

ルート検索モードとなり、マウスカーソルが［ ］となります。




### 2 スタート地点をクリックします。

クリックした地点にスタート地点の旗 （S の旗）が立ちます。



**3**

・ゴール地点を設定する場合
ダブルクリックした地点がゴール地点  （Gの旗）となります。
・ゴール地点までに経由する場所がある場合
その場所でもクリックしてください。
スタート地点を１番として、昇順の番号がついた旗  が立ちます。



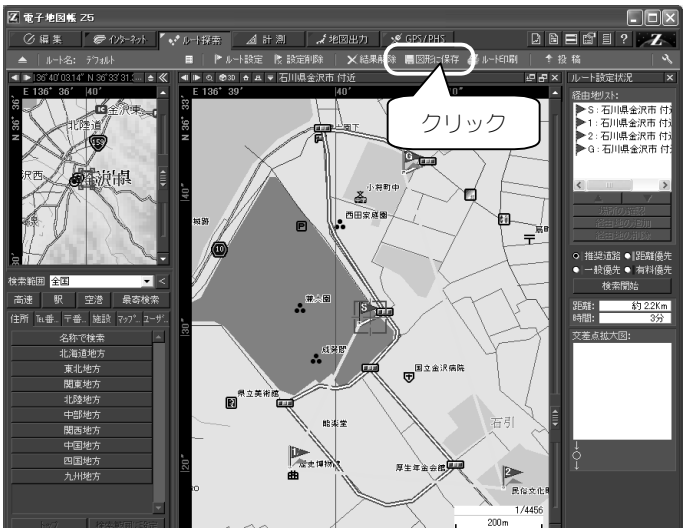

**4**

[検索開始]ボタンをクリックするとマップ上にルートが表示されます。

検索されたルートは、マップ上に白抜きの緑線で表示されます。



**5** ルート探索結果表示後、[図形に保存] ボタンでルートが保存されます。




**6** この後、[GPS/PHS] モードに移り、GPS で位置を確認しながら、検索したルートを進んでください。

**注意！**

**・GPS を使用した状態でのリアルタイムルート検索はできません。**
**リアルタイムでの自動検索(リルート検索)にも対応しておりません。**
**・ルート探索の結果は、一度に1ルート表示できます。別のルートを検索する場合は、削除しなければなりません。**

**参考**

**表示されているルートの加工・削除は[編集モード]で行ってください。**

以上でルートの探索は終了です。

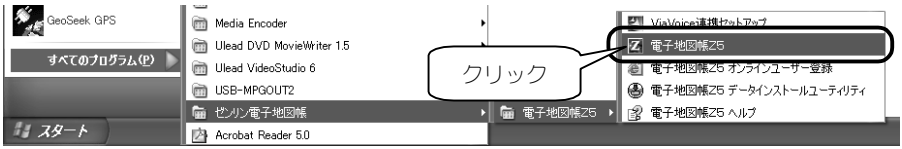
## サインポストエリアを設定する

**1** **パソコンと本製品をUSB接続して電源をオンにします。**
【パソコンに接続】23ページ参照

**2** **パソコンで地図ソフトを起動し、サインポストエリア（目的地）を設定します。**

PDC-GPS一台につき、最大5地点のサインポストエリアを設定することができます。ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAの場合は、以下の手順で設定できます。

① 「ゼンリン電子地図帳Z[zi：]5 for I-O DATA」を起動します。
[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5] をクリックします。

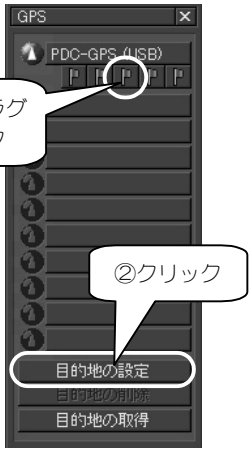



② [GPS/PHS]ボタンをクリックし、[GPS を利用する]アイコンをクリックします。




③ [カードの選択]で[PDC-GPS（GeoSeek GPS）]をクリックし、[接続]ボタンをクリックします。

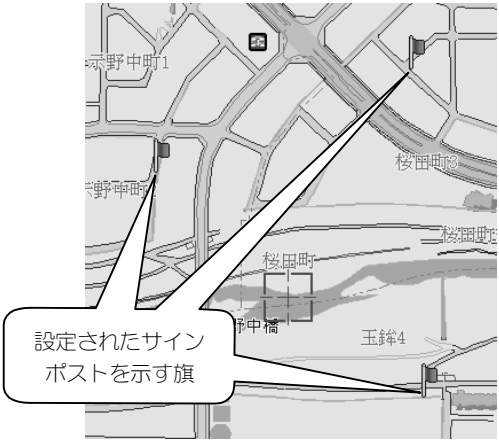
④ [目的地フラグ]アイコンをクリックし、
[目的地の設定]ボタンをクリックします。




[目的地フラグ]アイコンは全部で5個あります。手順④～⑤を繰り返して、5個所まで設定することができます。




⑤ 地図上でサインポストエリアにしたい場所をクリックします。
クリックした場所に旗が表示されます。
手順④～⑤を 5 回繰り返すことにより、5 個所までサインポストエリアとして設定できます




以上でサインポストエリアの設定ができました。

**参考**

**・一度設定した目的地フラグを解除したい場合は、その目的地フラグをクリックして[目的地の削除]ボタンをクリックします。**
**・[目的地の取得]ボタンをクリックすると、本製品内に設定されているサインポストの情報を取得し、地図上に目的地フラグを表示します。**

### 3 サインポスト動作を設定します。

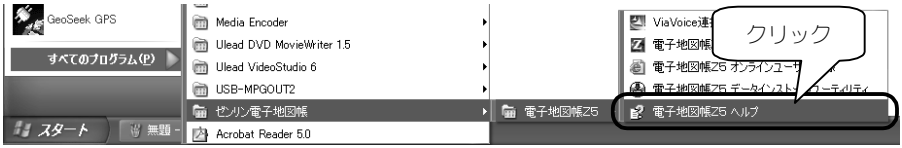
サインポストエリアに進入したとき、あるいは出たときに、本製品にどのような動作をさせるのかを設定します。
添付ユーティリティ「GeoSeek GPS」で設定します。
（44ページ【設定1タブ】の[サインポスト設定]欄参照）

## その他の使用方法

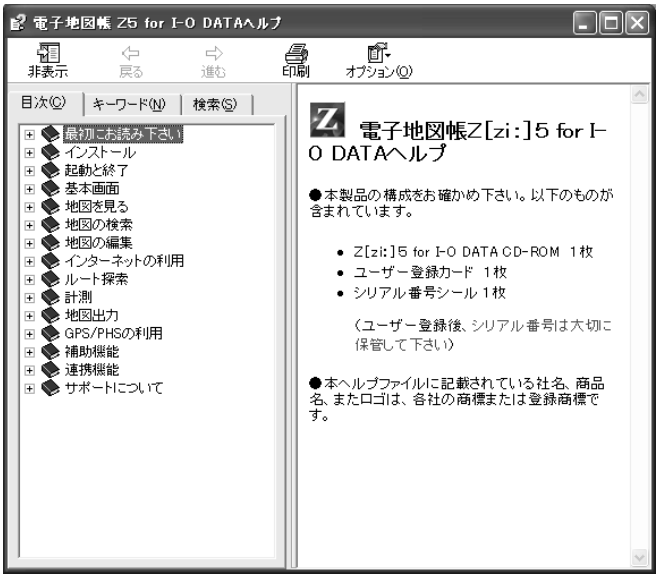
「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」の詳細については、以下の手順でオンラインヘルプ「電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA操作マニュアル」をご覧ください。

### 1 ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA を起動します。

[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[ゼンリン電子地図帳]→[電子地図帳Z5]→[電子地図帳Z5 ヘルプ]をクリックします。




### 2 電子地図帳Z5 ヘルプが表示されます。



## 添付地図ソフト に関するお問い合わせ

添付の地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA」に関する使用方法、その他ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

● **株式会社ゼンリン　お客様相談室**

**TEL　03-5259-5064**

**FAX　03-5259-5073**

**e-mail　support@zenrin.co.jp**

受付時間　毎週月曜日～金曜日

10:00～12:00/13:00～17:00

※ 祝日・夏期休暇・年末年始などゼンリン社休日はお休みとさせていただきます。



***注意！***

**お問い合わせの際は、以下をメモした上で、お問い合わせください。**

- **お客さまのお名前/ご住所/お電話番号**
- **製品名（ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA）**
- **製品のシリアルNo.**
  **（添付の「ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5ユーザー登録はがき」に記載されているシリアル番号(16桁の英数字)）**
- **ご使用パソコンの本体メーカー/機種**
- **ご使用Windows OSの種類/バージョン**
- **ご使用プリンタのメーカー名/機種　（印刷に関するご質問の場合）**
- **お問い合わせの内容**

# ふろく

*思うように動作しない場合の対処方法や、資料などをまとめてあります。*




**困ったときには** 86ページ

トラブルの解決にご参考ください。





**アンインストール** 94ページ

インストールしたものが必要なくなった場合の削除方法す。





**ハードウェア仕様** 96ページ

本製品のハードウェア仕様の一覧です。





**用語解説** 97ページ

本書内の用語について説明します。

# 困ったときには

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。




### ● PDC-GPS を単独で使用している場合

| | |
|---|---|
| 電源を入れているのに、測位できない（LED3(緑)が点滅しない） | 88ページ |

### ● PDC-GPS と携帯電話機を接続している場合

| | |
|---|---|
| 携帯電話機のコネクタに接続できない | 88ページ |
| 携帯電話機と接続してもエラーになる（LED2(黄)の早い点滅がいつまでも続く、またはLED1～4が全点灯して電源が切れる） | 89ページ |
| 携帯電話機に情報表示がでない<br>メールの本文が作成できない | |
| 携帯電話機のキー操作音を消したい | 90ページ |

### ● PDC-GPS とパソコンを USB 接続している場合

| | |
|---|---|
| 実際の進行方向と向きがあっていない | 90ページ |
| 地図の道から外れている | |
| 移動しているのにポイントが動かない、または遅い | 91ページ |
| 表示されている高さがおかしい | |
| 動作に異常がある | |
| 「電子地図帳Z5のCD-ROMが入っていません」と表示されて、起動できない | |
| 移動しているが、現在位置が動かない、または消えた | 92ページ |
| 表示されるGPS衛星の個数が少ない | |
| 移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない | |
| [GPS/PHSのオプション]の[カードの選択]で本製品の表示がでてこない | |

### ● その他

| | |
|---|---|
| 現在位置が実際の位置とずれている | 93ページ |
| 動作状況表示が2Dになっている | |

## PDC-GPSを単独で使用している場合

### 電源を入れているのに、測位できない（LED3(緑)が点滅しない）

| | |
|---|---|
| **原因 1** | コールドスタートなので、数分かかっている |
| **対処** | コールドスタート（47 ページ【測位条件タブ】の[⑥コールドスタート]参照）の場合は、正常測位できるまでに約 5 分かかります。 |

| | |
|---|---|
| **原因 2** | 測位できない場所である |
| **対処** | ビル影や林の中など、空の開けていない場所では、測位できない（または測位に時間がかかる）場合があります。建物などが密集していない、空の開けた場所で確認してください。<br>また、47 ページ【測位条件タブ】の[マスク設定]欄の各項目を変更してみてください。（48 ページ下の【参考】もご覧ください。） |

| | |
|---|---|
| **原因 3** | 電池の残りが少ない |
| **対処** | 電池の残りが少ない場合は、LED1(赤)が早い点滅になりますが、電池メーカによっては LED1(赤)が遅い点滅でも残りが少ない場合があります。新品の電池に交換して確認してください。 |

## PDC-GPSと携帯電話機を接続している場合

### 携帯電話機のコネクタに接続できない

| | |
|---|---|
| **原因** | コネクタの向きが異なります。 |
| **対処** | 17 ページ【16 芯コネクタの向きを携帯電話機に合わせる】をご覧ください。 |

## 携帯電話機と接続してもエラーになる（LED2(黄)の早い点滅がいつまでも続く、またはLED1～4が全点灯して電源が切れる）

| | |
|---|---|
| **原因 1** | 携帯電話機の電源が切れた状態で接続している |
| **対処** | 接続前に必ず携帯電話機の電源を入れてください。本製品の電源は、接続前でも接続後でもどちらでもかまいません。 |

| | |
|---|---|
| **原因 2** | 携帯電話機の暗証番号を登録していない |
| **対処** | 携帯電話機の暗証番号を「0000」に変更するか、44 ページの[⑪PDC 暗証番号]で登録してください。 |

| | |
|---|---|
| **原因 3** | 携帯電話機の製造番号が登録されていない |
| **対処** | お使いの携帯電話機の製造番号が本製品に登録されていない場合があります。添付の「PDC-GPS サポートソフト」の「製造番号登録ツール」フォルダの「使用方法.TXT」に従って登録してください。 |

## 携帯電話機に情報表示がでない<br>メールの本文が作成できない

| | |
|---|---|
| **原因 1** | 測位できていない |
| **対処** | 本製品の LED3(緑)が点滅していないと、一部の機能は使用できません。 |

| | |
|---|---|
| **原因 2** | データが登録されていない |
| **対処** | サインポスト、WEB リンク、G メールなどが登録されていない場合は、それらを使用する機能が使えません。44～52 ページ（「PDC-GPS の設定」ダイアログに関する部分）をご覧の上、設定してください。 |

| | |
|---|---|
| **原因3** | 保存メールが多すぎる |
| **対処** | 7 ページの【対応携帯電話機と制限事項】をご覧ください。機種により違いますが、メール送信に失敗した場合などに保存メールが残る場合があります。そのメールが保存可能件数に達すると、それ以降使用できない機能があります。保存メールを削除してください。 |

### 携帯電話機のキー操作音を消したい

| | |
|---|---|
| **原因** | 携帯電話機でキー操作音の設定がされている |
| **対処** | キー操作音は携帯電話機での設定によるものです。携帯電話機の取扱説明書をご覧いただき、オフにしてください。 |

## PDC-GPSとパソコンをUSB接続している場合

### 実際の進行方向と向きがあっていない

| | |
|---|---|
| **原因** | 停止している |
| **対処** | 本製品には、方位を調べるジャイロのような機能はありません。進行方向は、移動中の測位座標から計算しています。そのため、停止した状態（もしくはそれに近い状態）で進行方向を変えても、反映されません。 |

### 地図の道から外れている

| | |
|---|---|
| **原因** | GPS 衛星の捕捉状態が悪い |
| **対処** | 添付の「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」にはマップマッチング（自動的に道の上に乗るように座標を補正する機能）がありません。捕捉している GPS 衛星の状態によっては数メートルから数 10 メールのずれがあります。 |

## 移動しているのにポイントが動かない、または遅い

| | |
|---|---|
| **原因** | 測位データの出力間隔が遅すぎる |
| **対処** | 46 ページの[②位置更新間隔]を短く設定してください。 |

## 表示されている高さがおかしい

| | |
|---|---|
| **原因** | 2D 測位中、または 3D 測位中でも捕捉されている GPS 衛星の位置が悪い |
| **対処** | 測位状態が 2D の場合は、高さの値はおかしくなります。また、3D 速中でも捕捉されている GPS 衛星の位置によっては計算誤差で正確な値がでない場合があります。 |

## 動作に異常がある

| | |
|---|---|
| **原因** | ― |
| **対処** | 57 ページ【動作に異常がある場合は初期化】を行ってください。 |

## 「電子地図帳Z5のCD-ROMが入っていません」と表示されて、起動できない

| | |
|---|---|
| **原因** | ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA の CD-ROM をセットしていない |
| **対処** | インストール後も、ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATA を起動するには CD-ROM が必要です。CD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットしてください。<br>または、データインストールユーティリティで地図データをインストールしてください。（21 ページ【注意】参照） |

## 移動しているが、現在位置が動かない、または消えた

| | |
|---|---|
| **原因 1** | [自動更新間隔]が長すぎる |
| **対処** | [GPSを利用する]アイコン（42ページ参照）をクリックすると、[自動更新間隔]が指定できます。高速移動中で更新間隔が長いと現在位置がなかなか更新されず、動かないように感じられます。必要に応じて[自動更新間隔]を設定してください。 |

| | |
|---|---|
| **原因 2** | GPS 衛星からの電波が受信できない場所へ移動した |
| **対処** | 受信できない場所に移動すると、現在位置マークが消えます。受信できる場所に移動するとまた表示されるようになります。 |

## 表示されるGPS衛星の個数が少ない

| | |
|---|---|
| **原因** | ― |
| **対処** | 本製品の設置場所により受信できる衛星の個数は異なります。現在位置が表示されていれば特に問題はありません。 |

## 移動しているが、現在位置や移動速度計が変わらない

| | |
|---|---|
| **原因** | GPS信号が受信できない場所へ移動した |
| **対処** | 受信できない場所に移動すると、最後に測定した現在位置の情報がそのまま表示されたままになります。受信できる場所に移動するとまた表示されます。 |

## [GPS/PHSのオプション]の[カードの選択]で本製品の表示がでてこない

| | |
|---|---|
| **原因** | GeoSeek GPS がインストールされていない |
| **対処** | GeoSeek GPS をインストールしてください。 |

## その他

### 現在位置が実際の位置とずれている

| | |
|---|---|
| **原因 1** | GPS 衛星からの測定誤差が大きい |
| **対処** | GPS 衛星からの電波は最悪の場合で数百メートルの誤差があります。故障ではありません。xii ページ【受信する電波と測定誤差について】をご参照ください。また、念のため 57 ページ【動作に異常がある場合は初期化】の作業もお試しください。 |

| | |
|---|---|
| **原因 2** | マップマッチングに対応していないため |
| **対処** | 本製品はマップマッチングに対応していないため、地図の道路上に正確に位置表示されないことがあります。 |

### 動作状況表示が2Dになっている

| | |
|---|---|
| **原因** | 3D測位ができない |
| **対処** | 本製品の設置場所により、3D 測位（高度の測位）ができない場合があります。その場合は自動的に 2D 測位となります。 |

# アンインストール

## GeoSeek GPSを削除する

インストールした「GeoSeek GPS」と「USBドライバ」を使用しなくなった場合の削除方法について説明します。

***1*** Windpws XP の場合

［スタート］→［コントロールパネル］から［プログラムの追加と削除］を起動します。

Windows 2000/Me/98 の場合

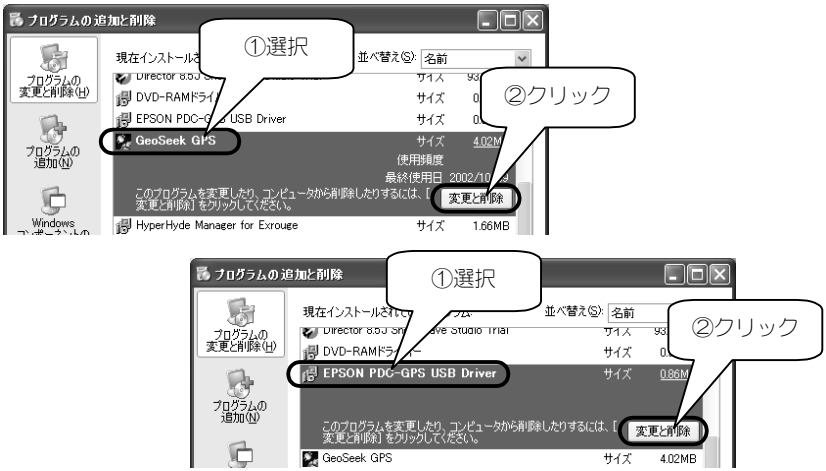
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

***2*** Windpws XP の場合

[GeoSeek GPS]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Windows 2000/Me/98 の場合

[GeoSeek GPS]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。




***3*** 画面の指示に従い、削除を進めてください。

***4*** USB ドライバを削除する場合は、再度手順***1***から作業を行い、手順***2***では[EPSON PDC-GPS USB Driver]を選択し、[変更と削除]または［追加と削除］ボタンをクリックします。

## ゼンリン電子地図帳Z[zi:]5 for I-O DATAを削除する

インストールした地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Z［zi:］5 for I-O DATA」を使用しなくなった場合の削除方法について説明します。

**1** Windpws XP の場合

［スタート］→［コントロールパネル］から［プログラムの追加と削除］を起動します。

Windows 2000/Me/98 の場合

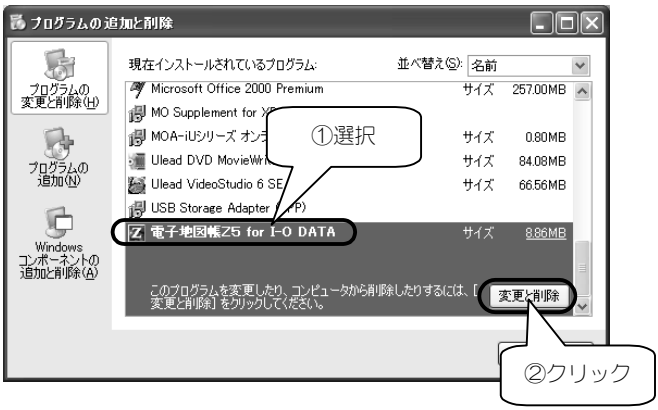
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

**2** Windpws XP の場合

[電子地図帳Z5 for I-O DATA]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

Windows 2000/Me/98 の場合

[電子地図帳Z5 for I-O DATA]を選択し、[追加と削除］ボタンをクリックします。




**3** 画面の指示に従い、削除を進めてください。

# ハードウェア仕様

| | |
|---|---|
| 型式番号 | PDC-GPS |
| USB インターフェイス | USB1.1 準拠 |
| 受信周波数 | 1575.42MHz（C/A コード） |
| 受信方式 | マルチチャンネル（8 チャンネル）<br>32 コリレータ、連続捕捉 |
| 受信精度 | -130dBm 以下（内蔵 GPS アンテナ使用時） |
| 測位更新時間 | 約 5 秒毎（可変） |
| 入出力データフォーマット | NMEA-0183<br>（RTCM-SC104 プロトコル:DGPS 対応） |
| 測地・座標系 | Tokyo 測地系（初期設定）<br>WGS-84 測地系 |
| 測位精度 | 25mCEP（50%）（SA OFF） |
| 速度精度 | 0.1m/秒（SA OFF） |
| 使用温度範囲 | +0℃～+40℃ |
| 使用湿度範囲 | 20%～80%（結露なきこと） |
| 電源電圧 | 電池使用時:2.3V～3.2V<br>USB 接続時:4.40V～5.25V |
| 消費電流 | 測位動作時:100mA 以下<br>USB 動作時:100mA 以下<br>DC 動作時:100mA 以下 |
| 外形寸法（H×W×D） | 約 29×51×70（mm） |
| 質量 | 約 55g（電池なし） |

# 用語解説

## COM ポート

パソコンと周辺機器をつなぐシリアルインターフェース。主にモデムや赤外線通信機器などの通信系機器を接続する。COM ポートはシステム側で自動的に番号が割り当てられてられる（COM1、COM2 など）。この番号を COM 番号（または COM ポート番号）と呼ぶ。COM ポートに割り当てられた機器をアプリケーションで使用するときは、この COM 番号を指定する必要がある。

## DGPS (Differential GPS)

位置の分かっている基準局が発信する FM 放送の電波を利用して、GPS の計測結果の誤差を修正して精度を高める技術。基準局で GPS による測量を行い、実際の位置と GPS で算出された位置のずれを中波や FM 放送などの地上波で送信することにより、GPS 衛星からの信号により計測した結果を補正する。通常の GPS では 100m 程度の誤差が生じるが、DGPS によっておおむね 5m 程度に誤差が軽減される。

## GPS (Grobal Positioning System)

24 個の衛星と地上の制御局を利用して利用者の現在位置を測定するシステム。４つ以上の衛星からの電波到着時間の差によって、現在位置を測定する。メートル単位の測定が可能。

本来は軍事用に開発されたシステムであるが（GPS 衛星は米国国防省が管理）、最近では地学の研究やカーナビゲーションシステムなどに用いられるようになった。

## PDC (Personal Digital Cellular)

デジタル方式自動車・携帯電話機サービスに用いられている方式の名称です。

## PDOP

ユーザの位置の誤差と衛星の位置の誤差の間の関係を表現する単位のない指数。衛星の配置が最も良い精度を得ることのできる時間を示します。最適なデータ収集の時間は PDOP を表示するレポートやグラフをもとにして選択することが出来ます。

## RTCM-SC104

ディファレンシャル補正の標準フォーマット。固定局から移動局へ補正情報を送信するために使用されます。正式ではありませんが、RTCM-104 とも呼ばれています。

## USB (Universal Serial Bus)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USB ポートから電源供給が可能なので、外部電源がいらない。（消費電流が低い場合）
- 複数の IRQ を使用しないので、機器間の競合が少なくなる。

などの特徴を持つ。転送速度は、ハイスピードモード（12Mbps）とローコストモード（1.5Mbps）の２種類がある。

## WGS-84

World Geodetic System (1984)（世界測地システム)、GPS と測量で標準的に使用されている測地系。
WGS-84 測地系は WGS-84 楕円体をもとにしています。長半径は 6378.137Km、偏平度の逆数 f-1 は 298.257223563 です。

# お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

## ① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

**http://www.iodata.jp/support/**

**製品Q&A Newsなど**

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

**http://www.iodata.jp/lib/**

**最新 サポートソフト**

## ② それでも解決できない場合は…

**住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
**アイ・オー・データ第2ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター**
**電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036**
**※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）**
**FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055**
**インターネット：　http://www.iodata.jp/support/**

### ・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

# 修理について

## 修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

## 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

**●お客様が貼られたシールなどについて**

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

**●修理金額について**

・保証期間中は、無料にて修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

**※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。**

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

**※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。**

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

## 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

**●メモに控え、お手元に置いてください**

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

**●これらを用意してください**

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

**※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。**

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

**●修理品を梱包してください**

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

**※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。**

**●修理をご依頼ください**

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

**※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。**

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

## 修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

**※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。**

PDC-GPS取扱説明書
2002.Nov.15 120724-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
© 2002 NTT DoCoMo, Inc.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。